

2015年3月期決算説明資料

代表取締役社長 最高経営責任者
石田 建昭

2015年5月28日

目次

■ 決算ハイライト

I. 業績推移

II. 東海東京証券の業務基盤の特徴

III. 課題

■ 経営計画“**Ambitious 5**”の進捗状況

■ “**Ambitious 5**”, **2nd Stage** –さらなる成長と資本政策–

※この資料で使用する数字は、特に記載のない限り、連結に関する数字を使用しております。

決算ハイライト

決算ハイライト

I. 業績推移(連結)

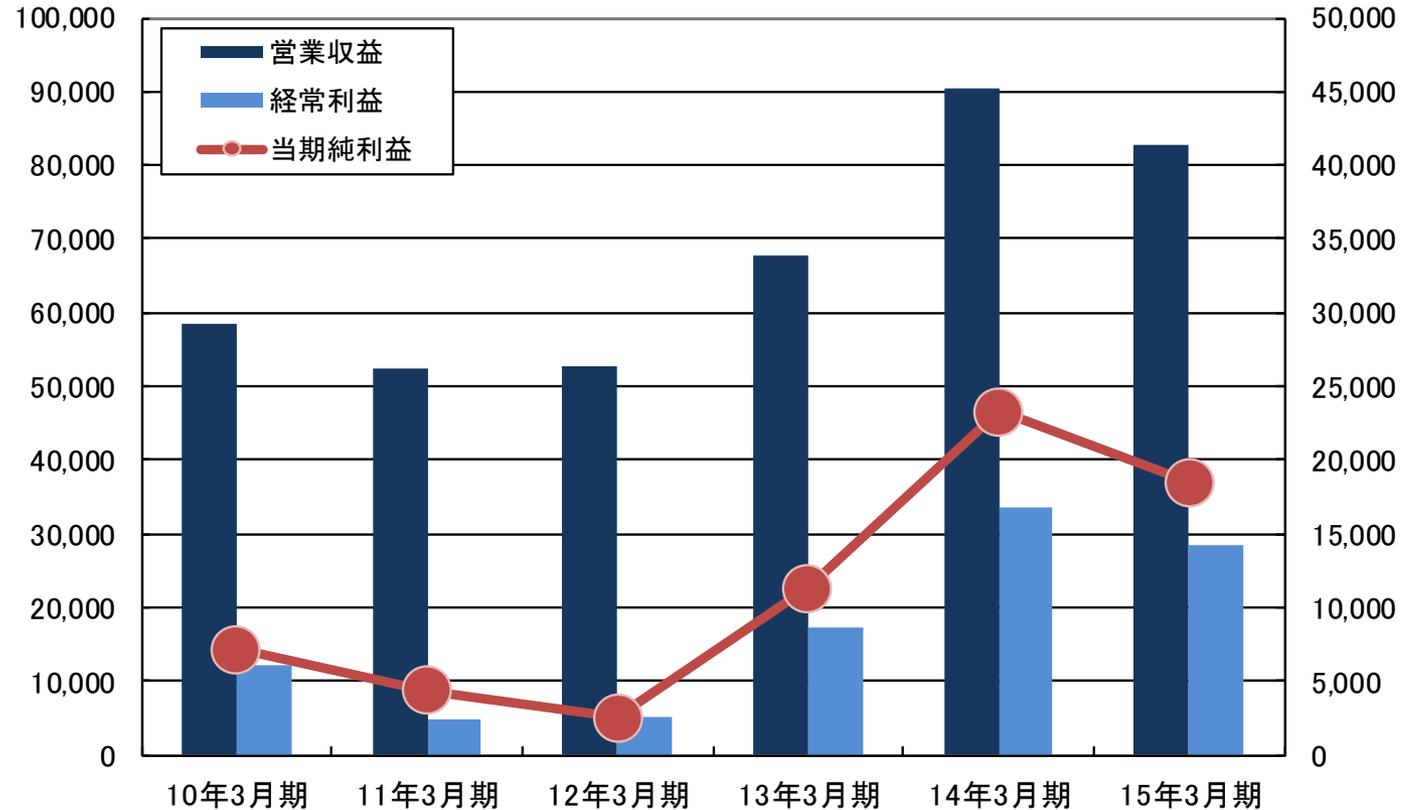
業績推移 (年度)

営業収益、経常利益

(百万円)

当期純利益

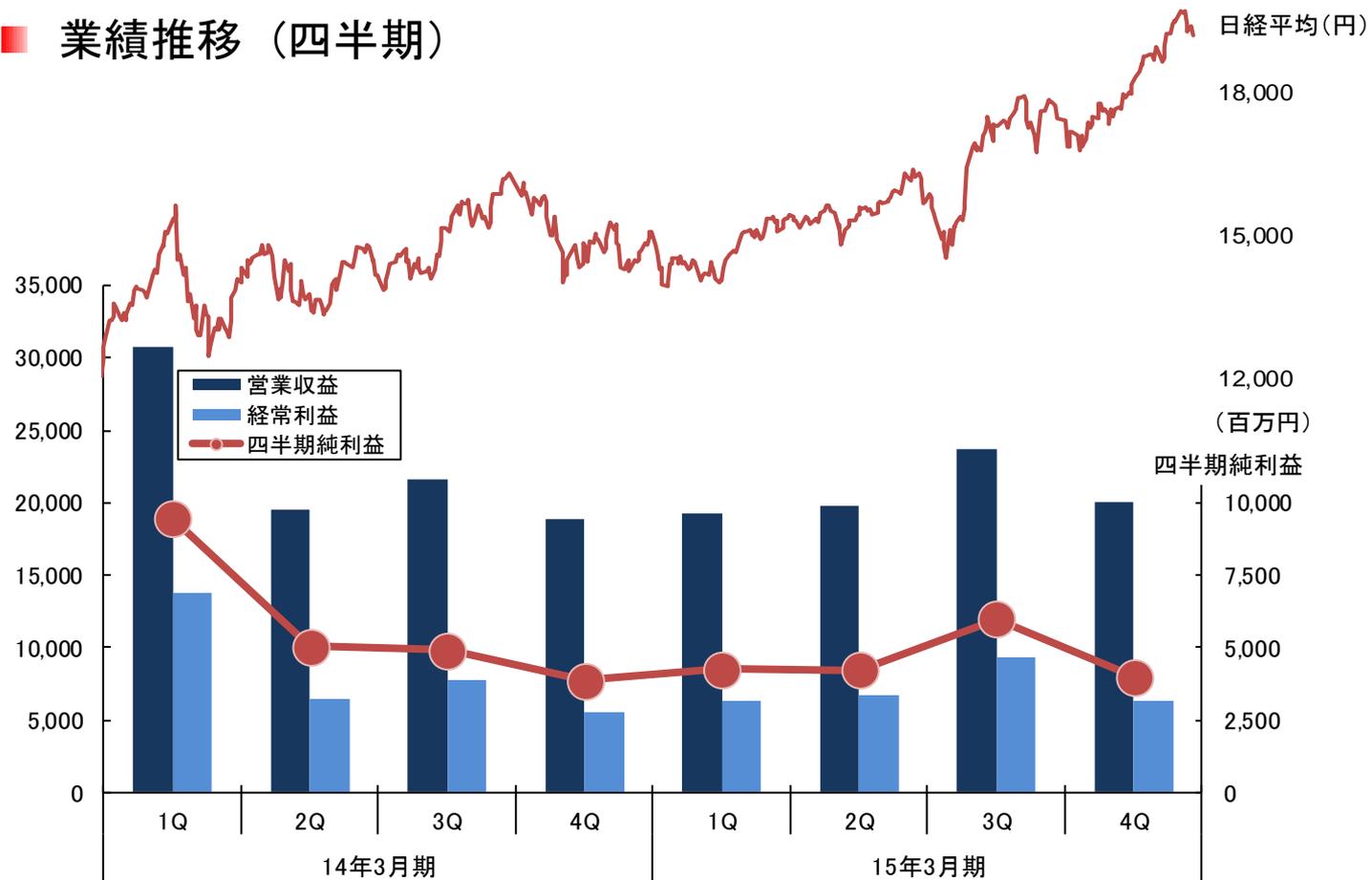
(百万円)



決算ハイライト

I. 業績推移(連結)

業績推移 (四半期)

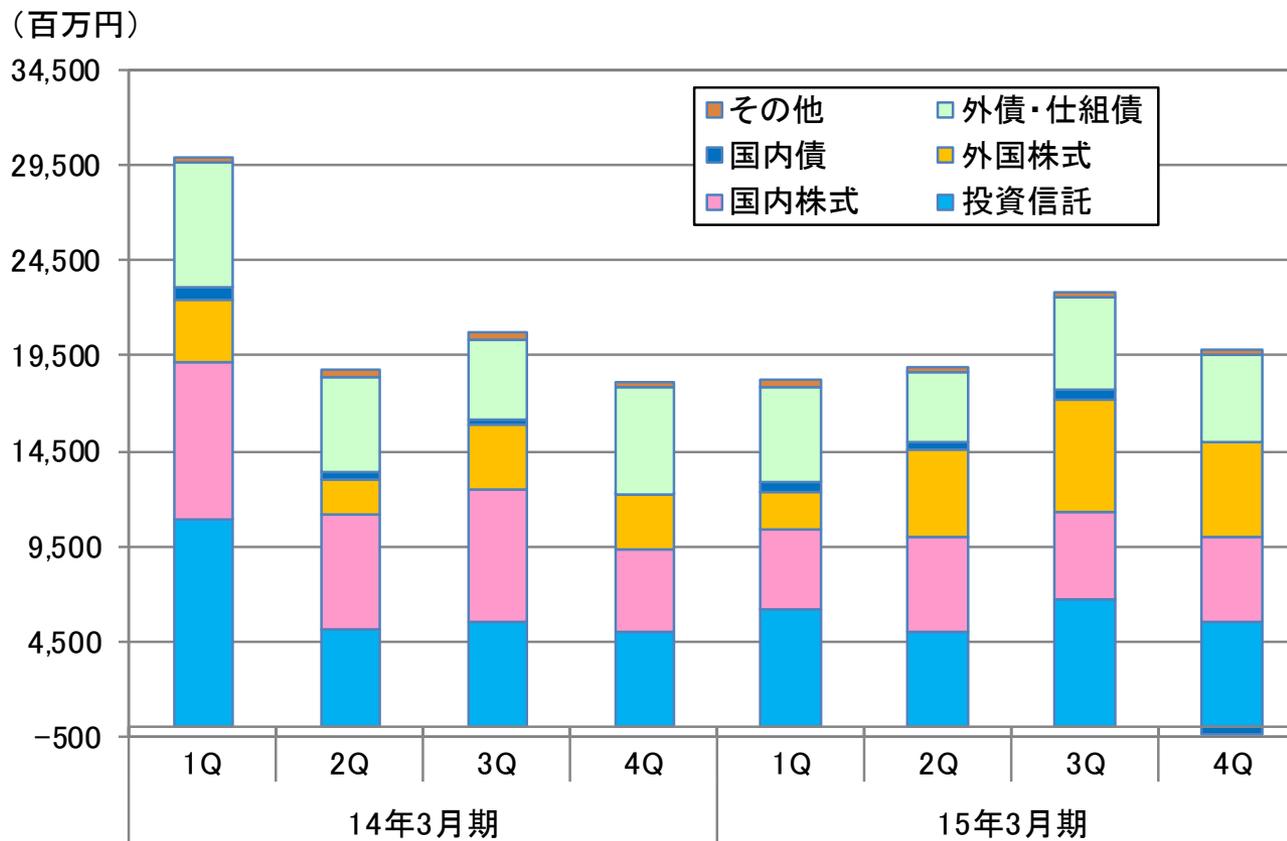


18四半期連続黒字

決算ハイライト

Ⅱ. 東海東京証券の業務基盤の特徴

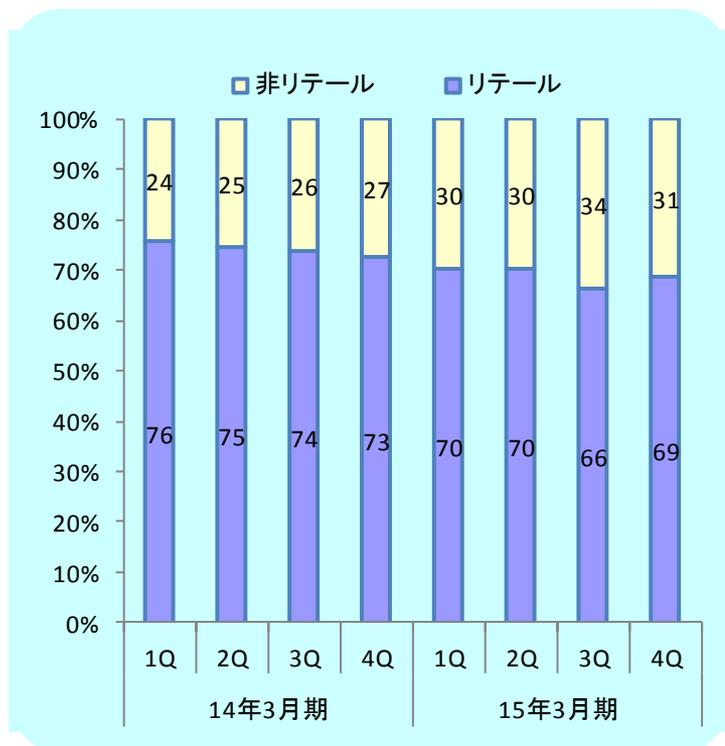
■ 営業収益・商品別内訳推移



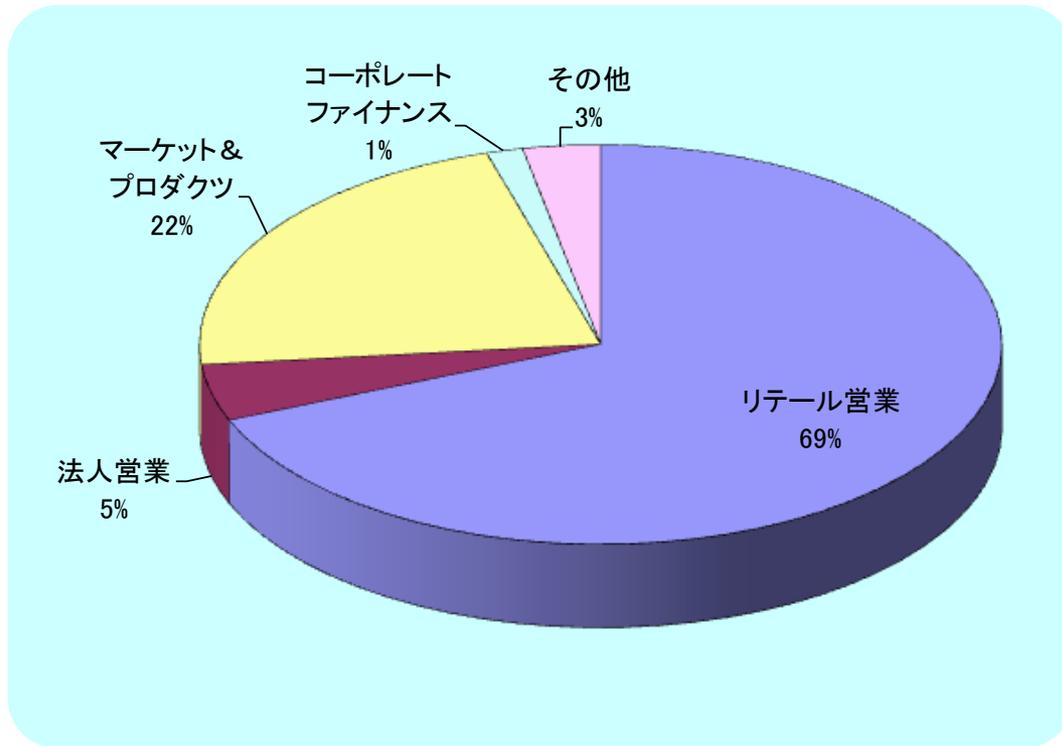
決算ハイライト

II. 東海東京証券の業務基盤の特徴

■ 収入内訳



■ 収入内訳(2015年3月期)



※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

※14年3月期1Qより以下の基準に基づき作成

リテール営業＝中部地域本部・東日本地域本部・西日本地域本部・ウェルスマネジメント本部のリテール営業及びダイレクトチャネル本部

法人営業＝中部地域本部・東日本地域本部・西日本地域本部・ウェルスマネジメント本部の法人営業

機関投資家営業＝マーケット営業推進本部のインスティテューショナル・カスタマー部門

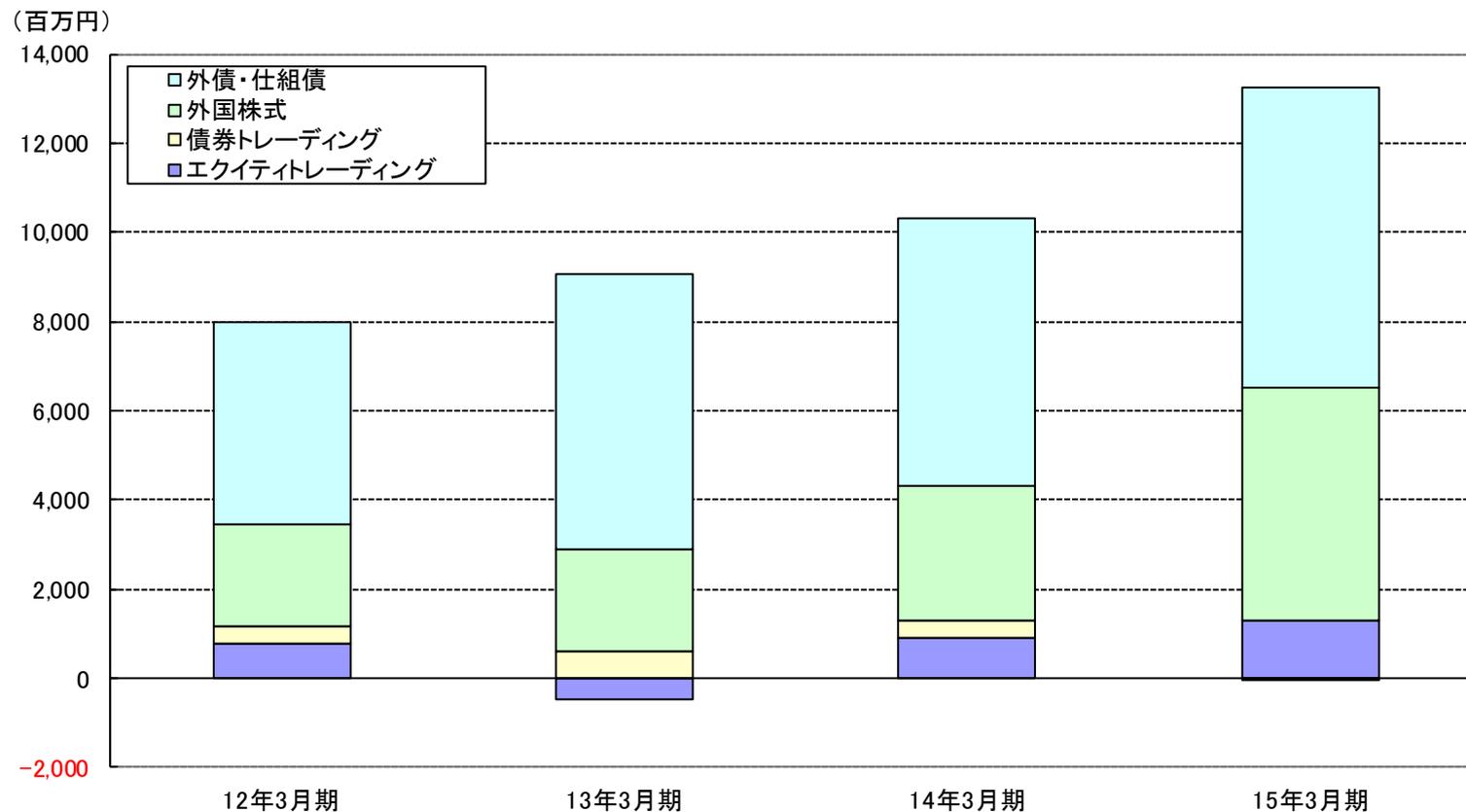
マーケット&プロダクツ＝マーケット営業推進本部のマーケット部門及びプロダクツ部門

コーポレートファイナンス＝企業金融本部

決算ハイライト

Ⅱ. 東海東京証券の業務基盤の特徴

■ マーケット&プロダクツ収入推移

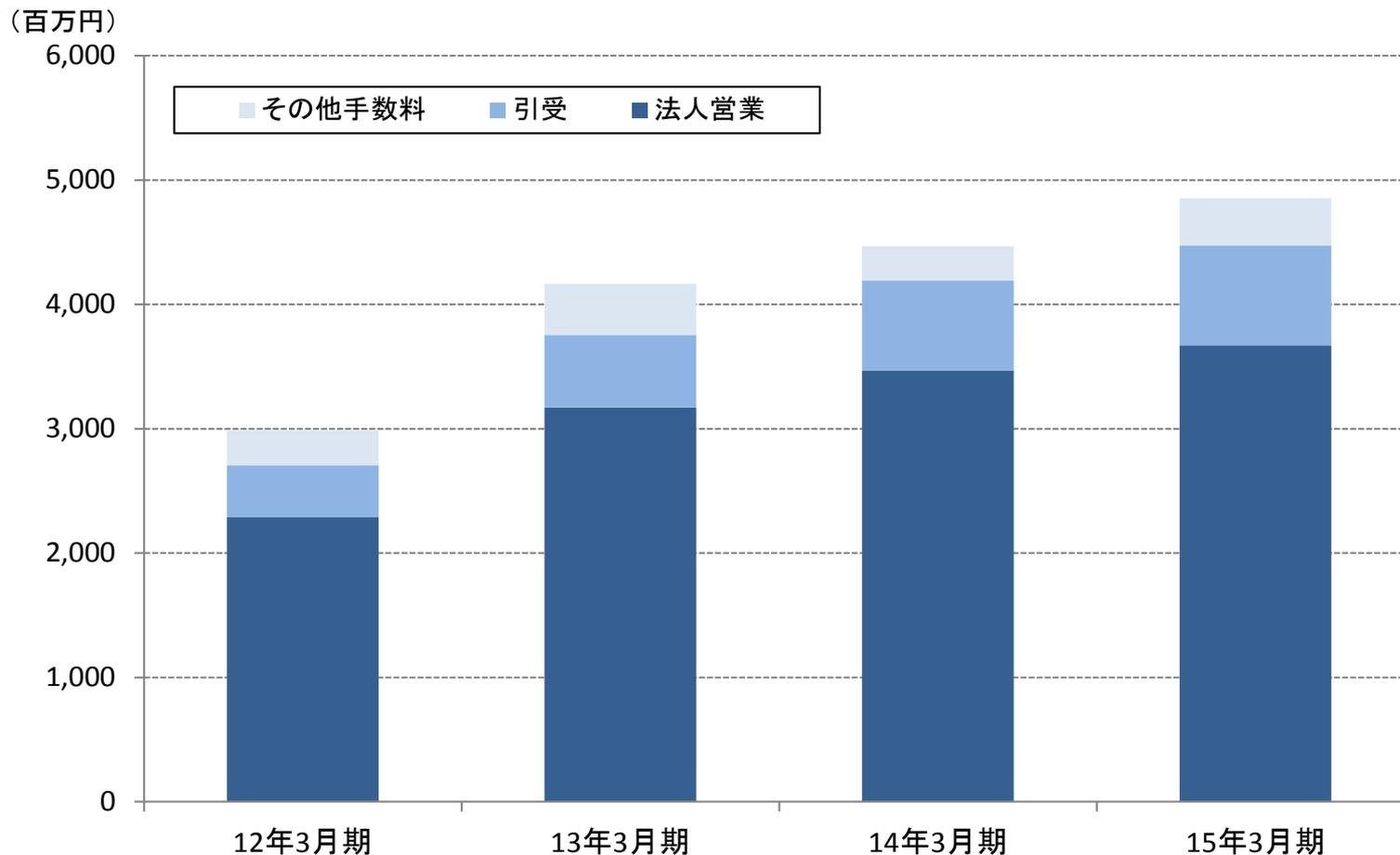


※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

決算ハイライト

Ⅱ. 東海東京証券の業務基盤の特徴

■ 法人営業本部および企業金融本部収入推移



決算ハイライト

Ⅱ. 東海東京証券の業務基盤の特徴

■ リーグテーブル(2014年度)

債券総合 引受額

2014年度				
順位	引受額	金額 (百万円)	シェア (%)	件数
1	みずほ	2,747,564	20.70	449
2	野村	2,530,278	19.06	446
3	三菱UFJモルガン・スタンレー	2,336,551	17.60	462
4	大和	2,234,787	16.83	448
5	SMBC日興	2,058,111	15.50	442
6	東海東京	271,259	2.04	149
7	ゴールドマン・サックス	234,100	1.76	83
8	メリルリンチ日本	177,800	1.34	66
9	しんきん	141,200	1.06	83
10	岡三	125,913	0.95	103

地方債 主幹事

2014年度				
順位	引受額	金額 (百万円)	シェア (%)	件数
1	大和	361,411	19.6	65
2	野村	323,616	17.6	57
3	三菱UFJモルガン・スタンレー	296,371	16.1	54
4	SMBC日興	258,386	14	48
5	みずほ	241,390	13.1	47
6	東海東京	145,038	7.9	28
7	ゴールドマン・サックス	67,130	3.6	11
8	バークレイズ	35,241	1.9	8
9	岡三	30,788	1.7	6
10	メリルリンチ日本	29,244	1.6	5

株式 PO 引受額

2014年度				
順位	引受額	金額 (百万円)	シェア (%)	件数
1	野村	299,182	40.34	48
2	大和	138,175	18.63	45
3	SMBC日興	120,992	16.31	44
4	みずほ	101,541	13.69	40
5	三菱UFJモルガン・スタンレー	51,866	6.99	29
6	ゴールドマン・サックス	7,229	0.97	1
7	岡三	5,703	0.77	11
8	SBI	5,012	0.68	13
9	東海東京	2,693	0.36	6
10	いちよし	1,839	0.25	8

株式 IPO 引受額

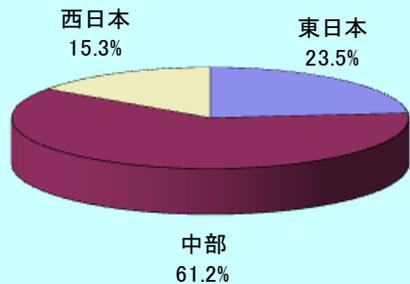
2014年度				
順位	引受額	金額 (百万円)	シェア (%)	件数
1	野村	191,373	43.65	47
2	みずほ	76,197	17.38	58
3	三菱UFJモルガン・スタンレー	53,215	12.14	25
4	SMBC日興	45,416	10.36	62
5	大和	42,635	9.72	40
6	SBI	10,501	2.39	73
7	東海東京	3,710	0.85	27
8	いちよし	3,102	0.71	35
9	メリルリンチ日本	2,271	0.52	1
10	UBS	1,736	0.4	1

決算ハイライト

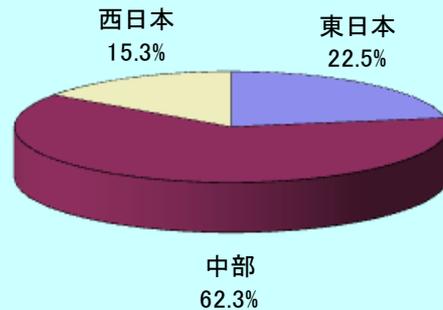
Ⅱ. 東海東京証券の業務基盤の特徴

■ 地域別収入

2014年3月期

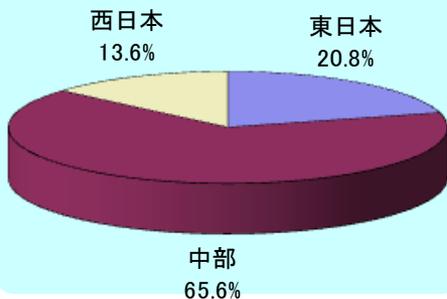


2015年3月期

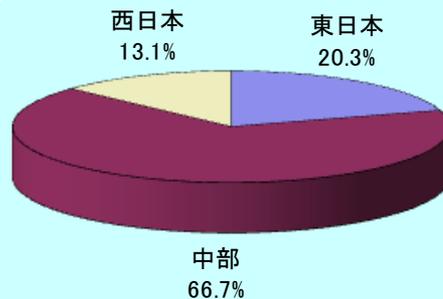


■ 地域別預かり資産

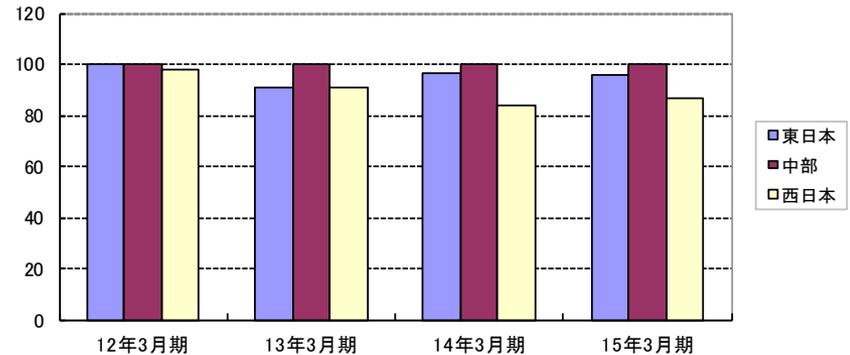
14年3月期



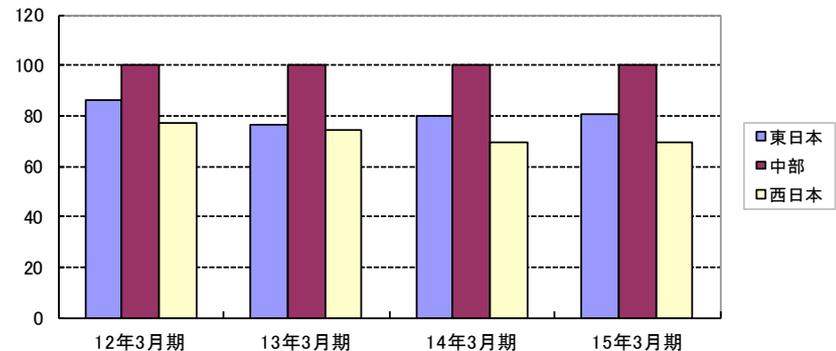
15年3月期



営業員一人当たり収入



営業員一人当たり預かり資産



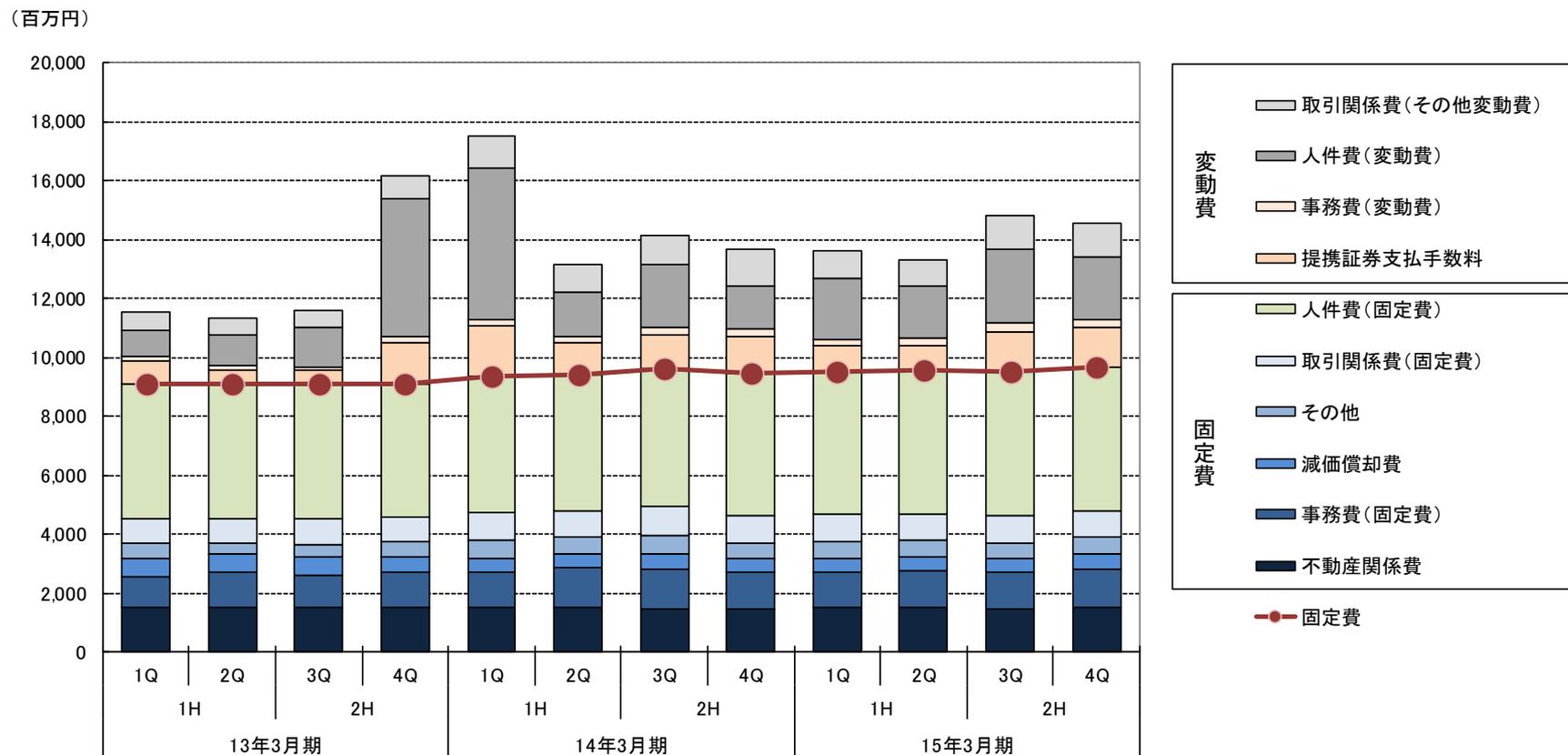
※中部を100とする指数

※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値(非対面チャネルを除く)

決算ハイライト

Ⅱ. 東海東京証券の業務基盤の特徴

■ 経費の推移



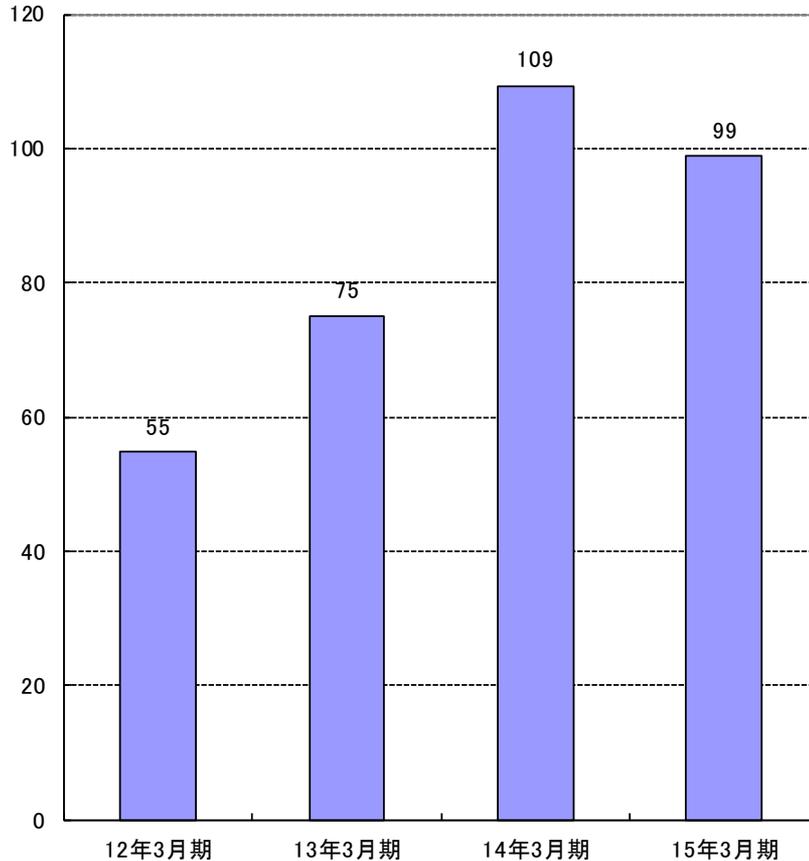
決算ハイライト

Ⅱ. 東海東京証券の業務基盤の特徴

■ 効率性

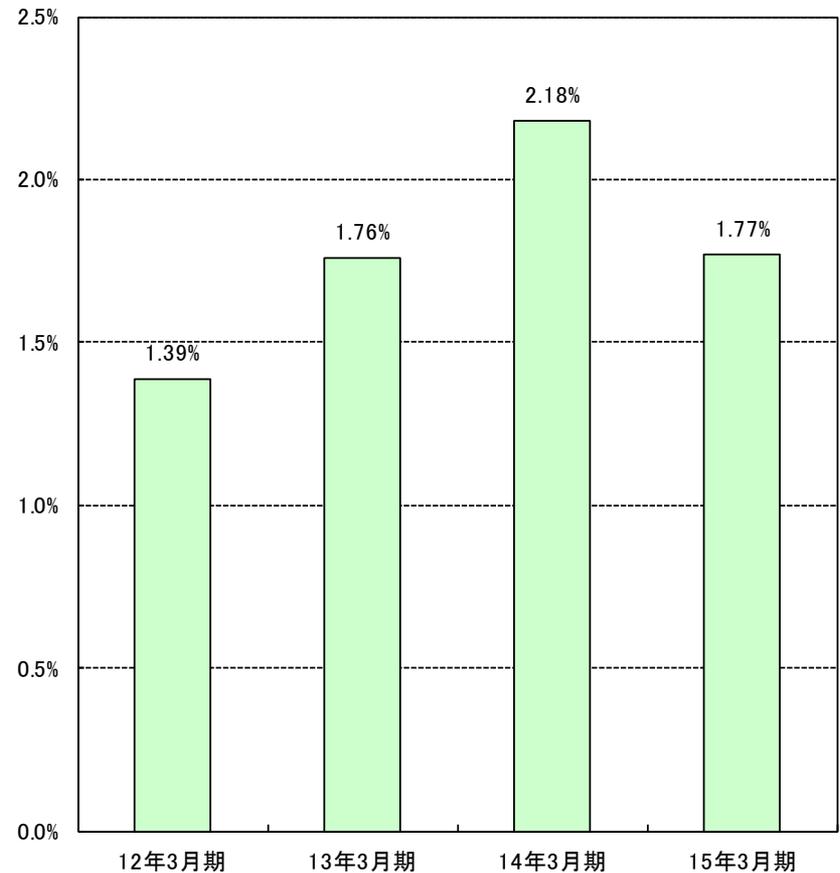
(百万円)

営業員一人当たり収益



※営業員数は期首・期末平均

収益／預かり資産



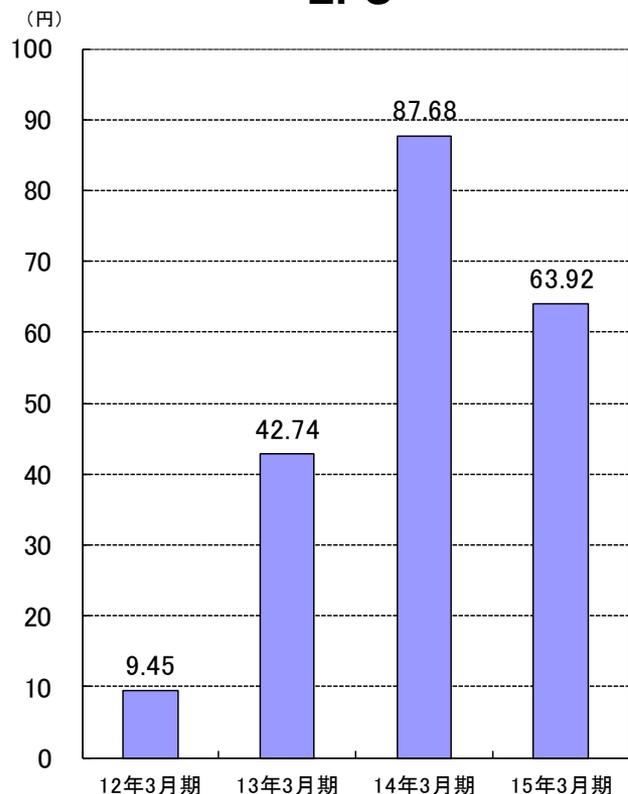
※預かり資産は期首・期末平均

決算ハイライト

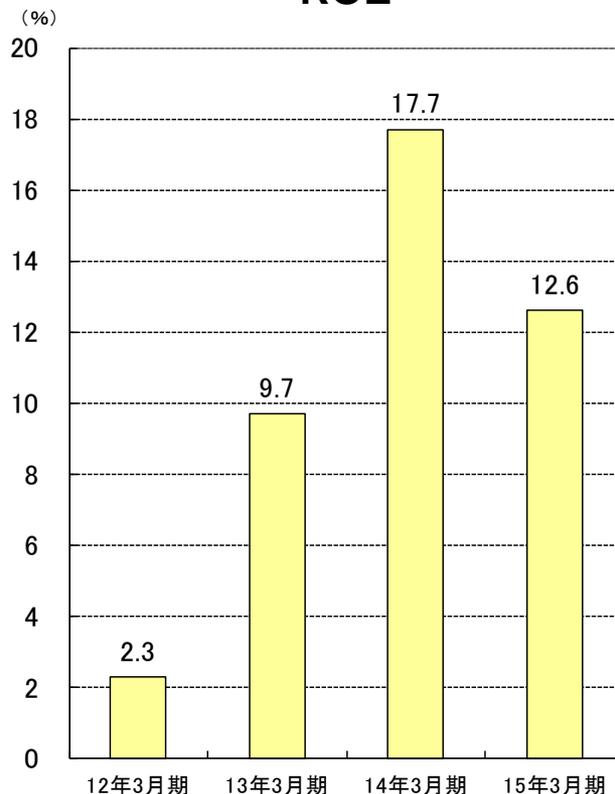
Ⅱ. 東海東京証券の業務基盤の特徴

■ 東海東京フィナンシャル・ホールディングスの経営指標

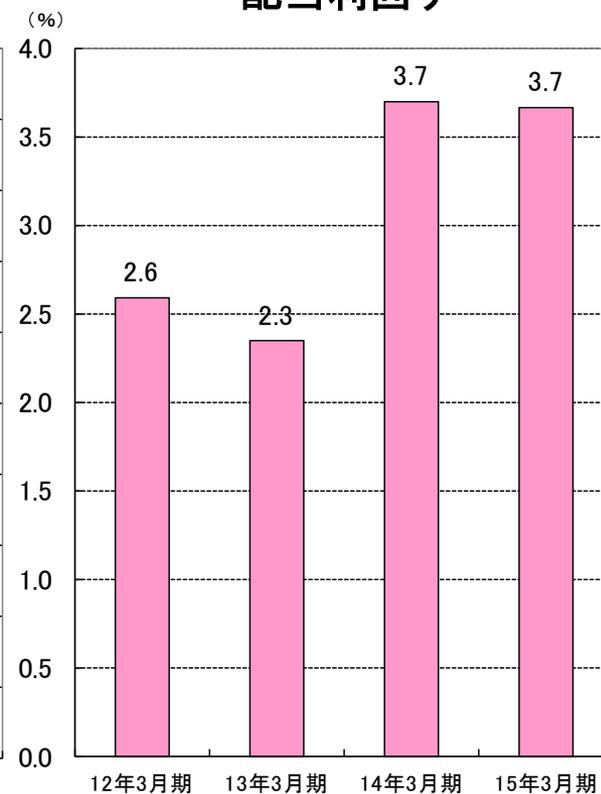
EPS



ROE



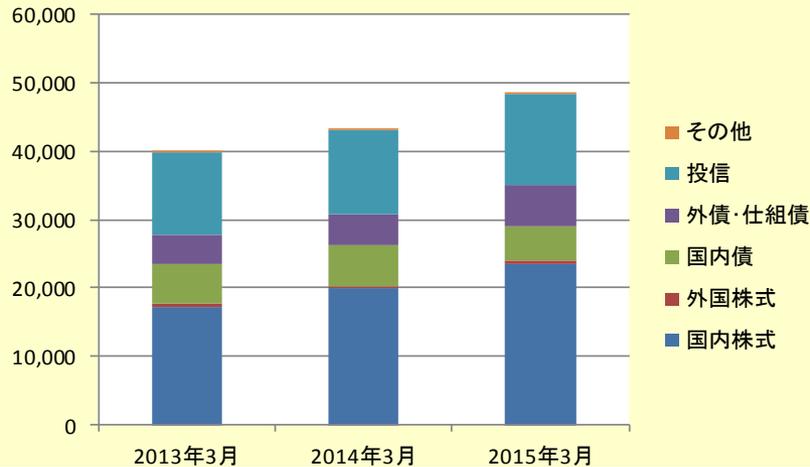
配当利回り



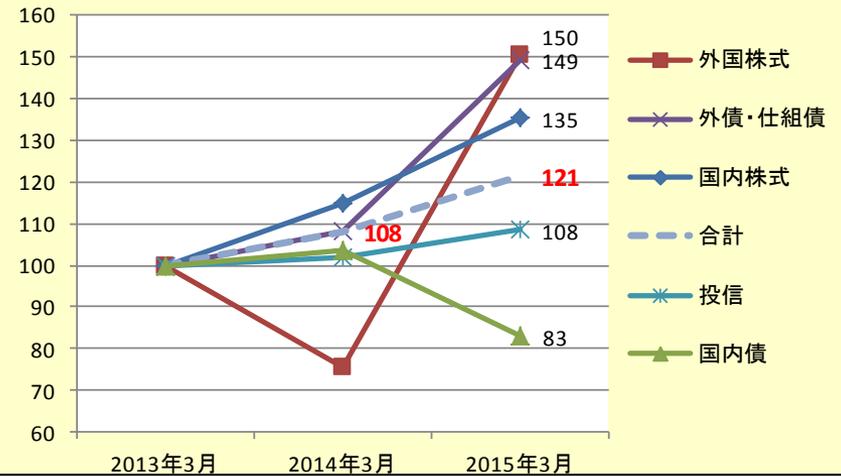
決算ハイライト

Ⅲ. 課題－預かり資産残高の動向

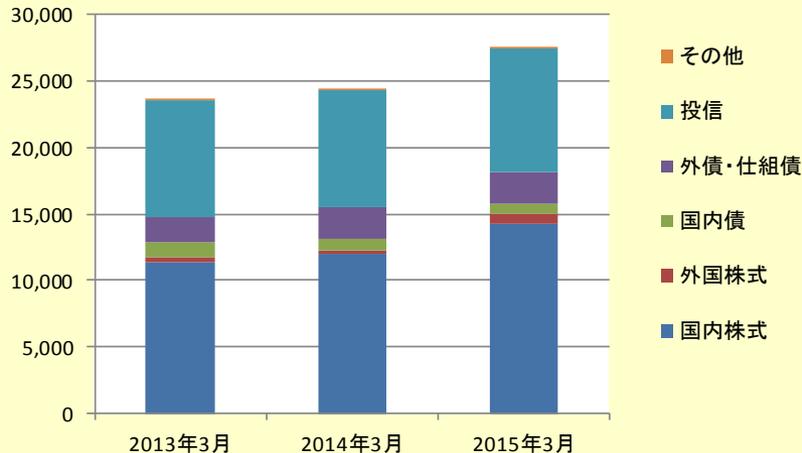
全社預かり資産残高推移



商品別・預かり資産残高推移 (全社、2013年3月=100)



リテール預かり資産残高推移



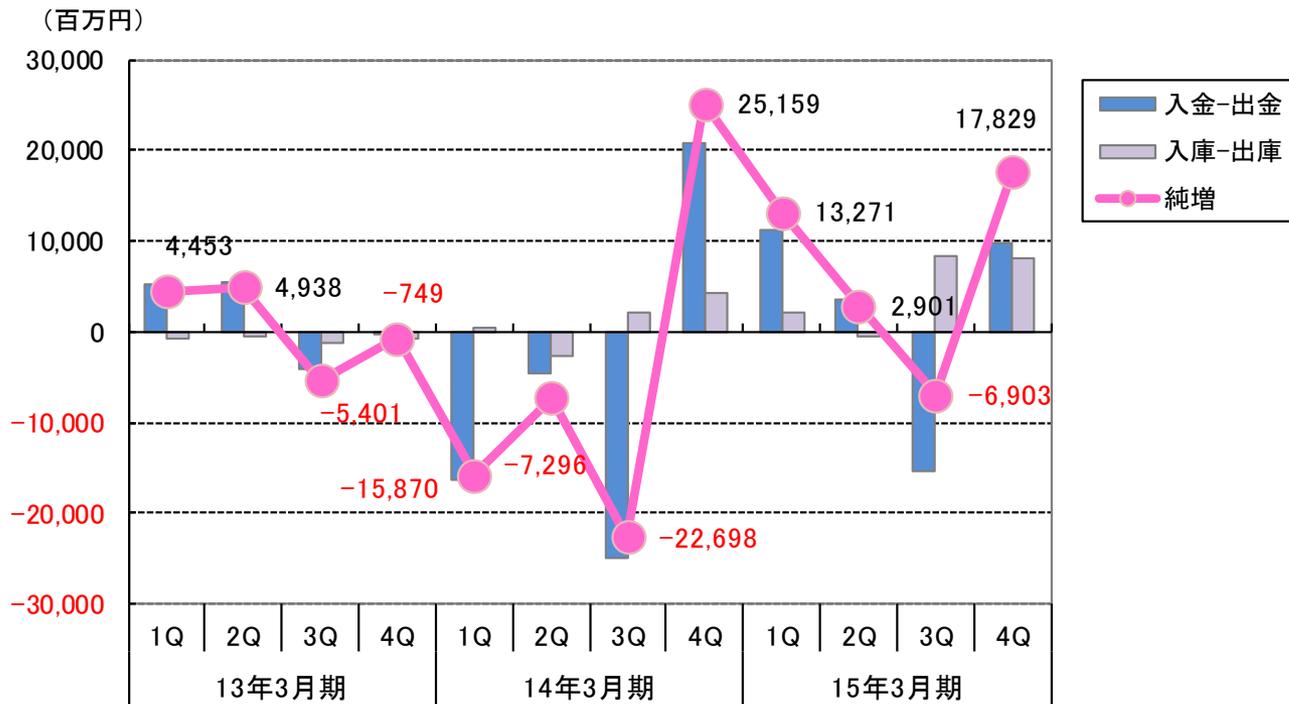
商品別・預かり資産残高推移 (リテール:2013年3月=100)



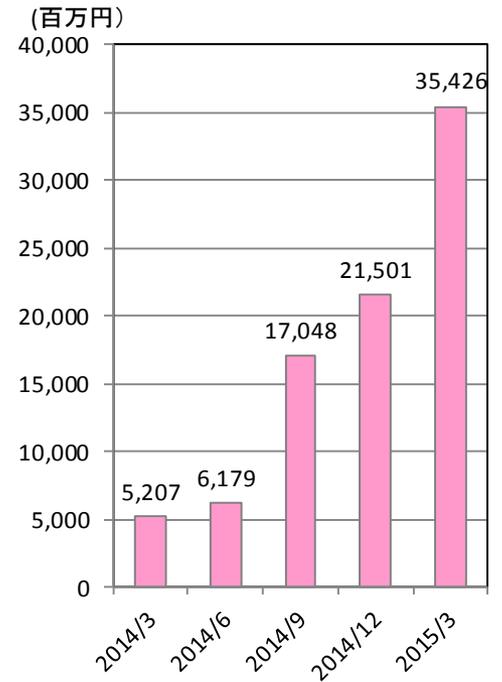
決算ハイライト

Ⅲ. 課題－預かり資産残高の動向

■ 入出金・入出庫(個人)



■ ラップ口座残高推移

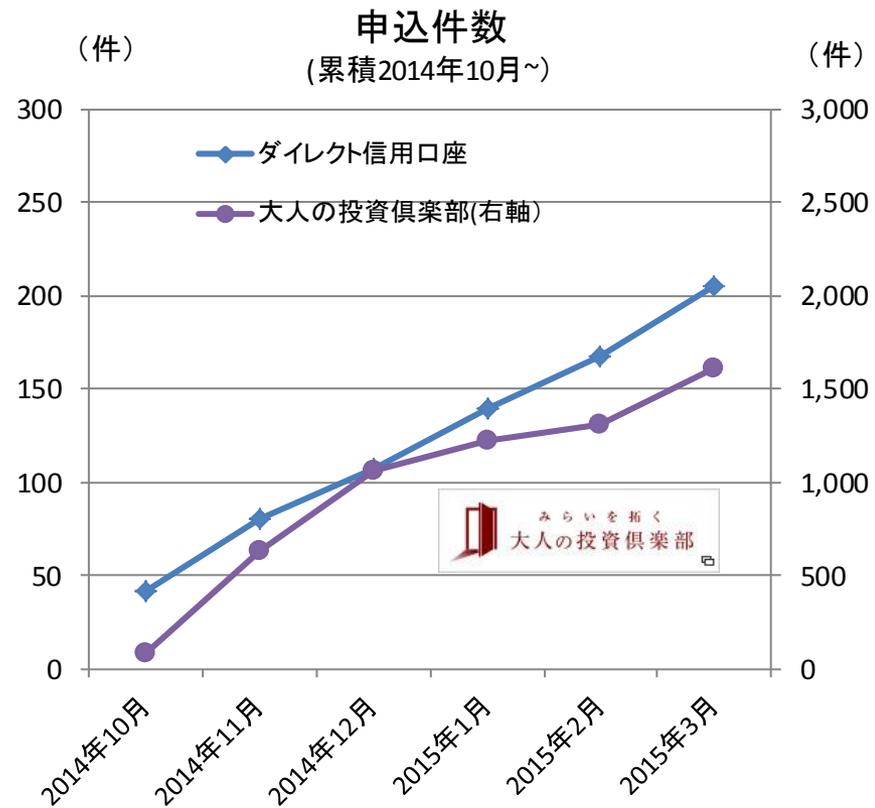
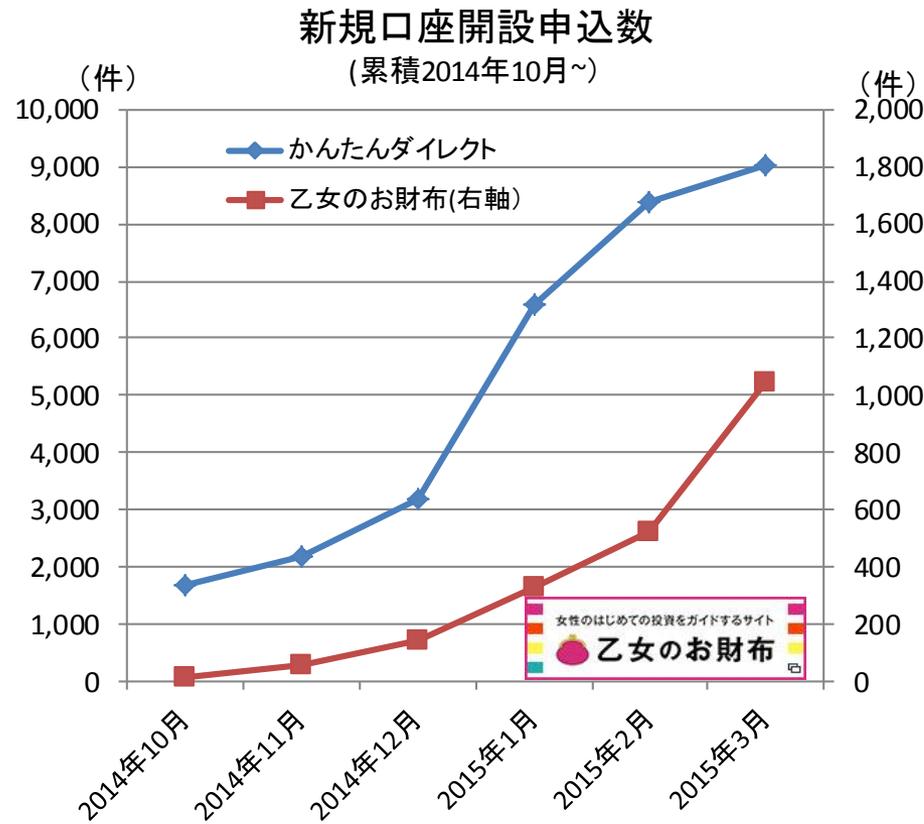


※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

決算ハイライト

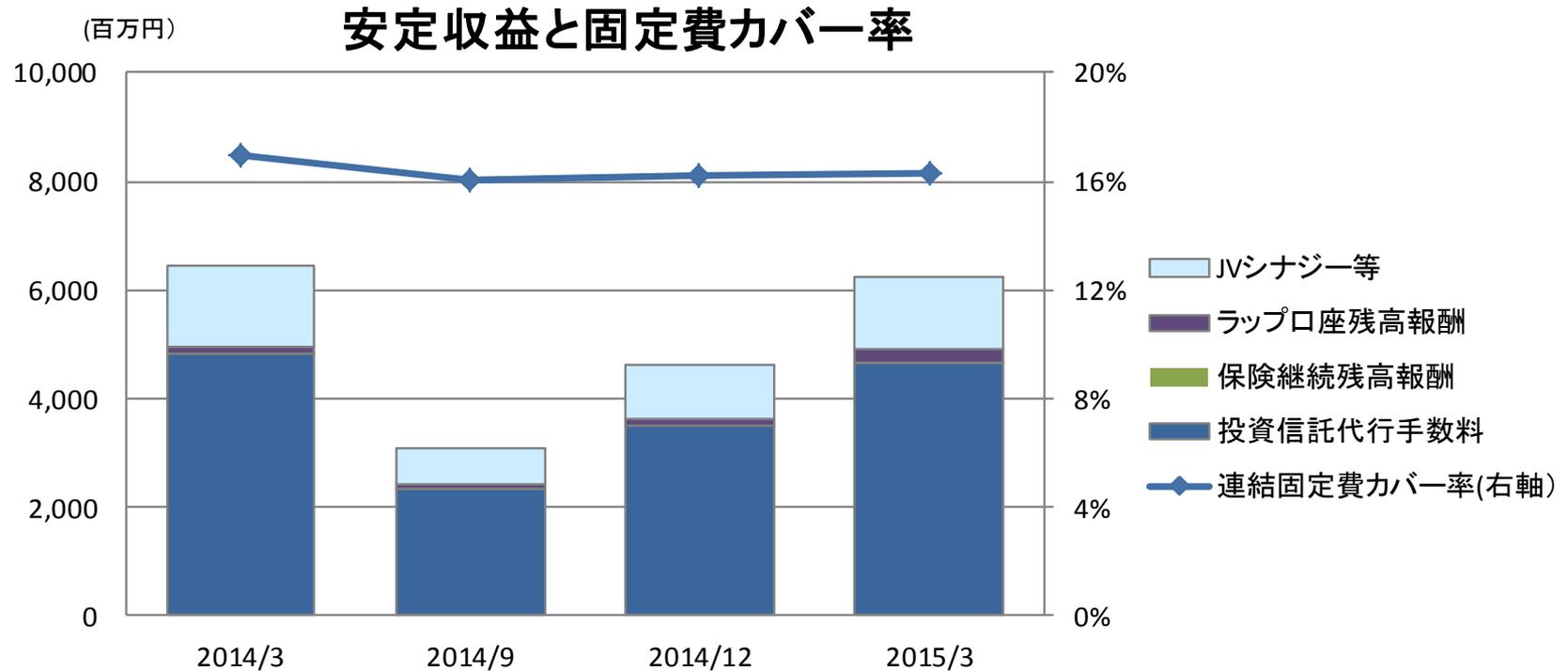
Ⅲ. 課題—Newビジネスの現況

■ 顧客セグメント別マーケティング —成熟層・資産形成層



決算ハイライト

Ⅲ. 課題－安定収益の積上げ

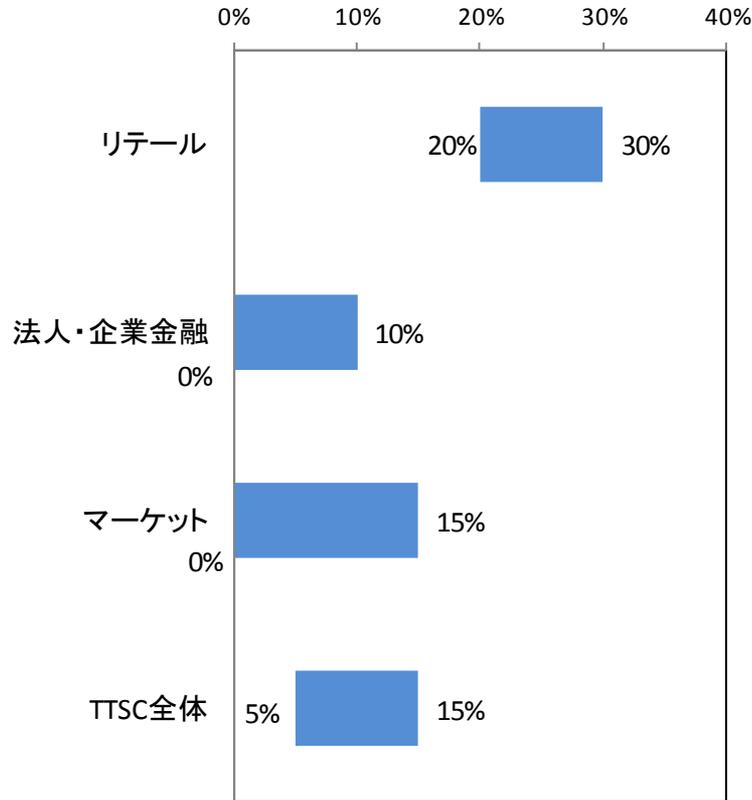


(出所) 社内資料より東海東京フィナンシャル・ホールディングス作成

決算ハイライト

Ⅲ. 課題－資本の効率的運用

■ 東海東京証券の部門別ROC（社内管理指標）



■ 自己資本の使途

(単位: 億円)

運用サイド	2009/3	2015/3	増減
【流動資産合計】	3,793	4,153	360
【固定資産合計】	395	427	31
【資産合計】	4,189	4,581	391

調達サイド	2009/3	2015/3	増減
【流動負債合計】	3,102	2,829	▲ 273
【固定負債合計】	40	173	133
【純資産合計】	1,043	1,573	530
【自己資本】	1,040	1,546	506
【株主資本合計】	1,051	1,479	428
資本金	360	360	-
資本剰余金	375	334	▲ 41
利益剰余金	412	821	409
自己株式	▲ 96	▲ 36	60
【その他の包括利益累計額合計】	▲ 10	66	77
【負債及び純資産合計】	4,189	4,581	391

※ROC(年率換算) = 残余利益(純利益-資本コスト) ÷ 配賦資本額

※ 経常損益は管理会計上の最終損益を使用。当期純利益は経常損益から法人税を減算。

(出所) 社内資料より東海東京フィナンシャル・ホールディングス作成

経営計画“**Ambitious 5**”の進捗状況

経営計画“Ambitious 5”の進捗状況

2nd Stage 1年目(2014年4月～2015年3月)の進捗

Leading Player in ASIA

各分野の強みを拡大・強化

独自性ある総合金融グループへ向けて「Ambitious 5」

1. Community & the Middle
戦略的地域・顧客への特化

2. Alliance & Platform
事業基盤の積極拡大

3. Expertise
専門的ノウハウ

4. Humanity
人間味溢れる企業

5. Risk Management
危機対応力の強化

グローバルネットワーク

人事制度改定

コンプライアンス体制

BPR
コスト削減

顧客セグメント別
マーケティング

安定収益重視型営業

戦略機能

持続可能なビジネスモデル

- ・グローバル・アドバイザーボードの設置
- ・バンコック銀行傘下ブルアン証券と業務提携
- ・フィリップキャピタルとの合併運用会社フィリップ東海東京インベストメント・マネジメント設立

- ・専門性(スペシャリスト・マイスターコースなど)、多様性を重視した新人事制度、女性活躍支援、メリハリ
- ・役社員の持株会社への転籍

- ・Key Performance Indicators (KPI) の設定・モニタリング
- ・コンプライアンス体制の充実
- ・役員選出評価手続きの明確化

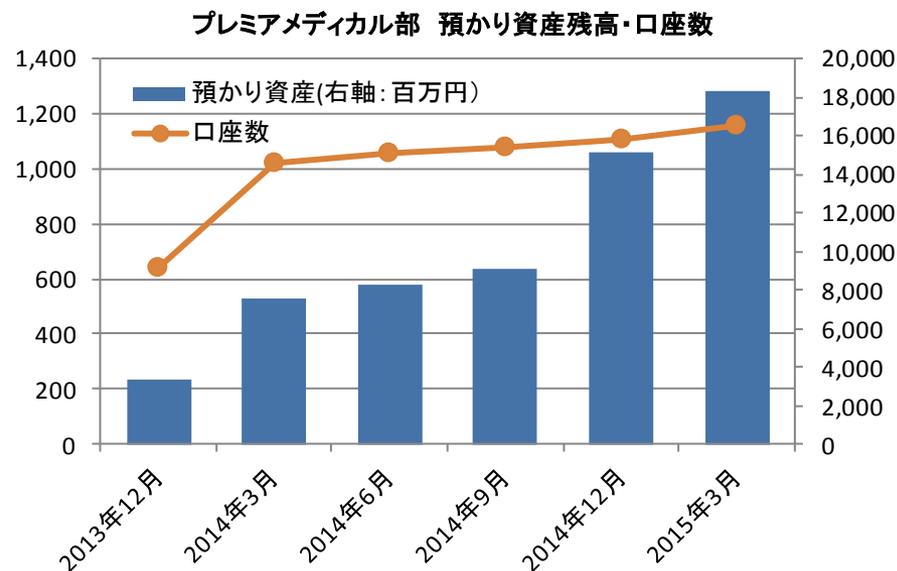
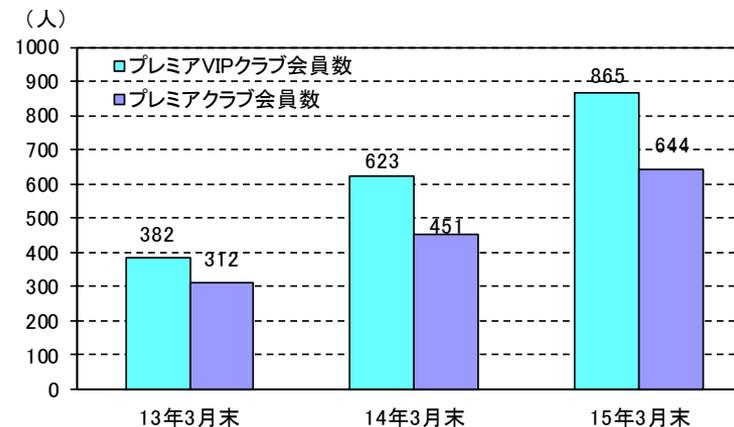
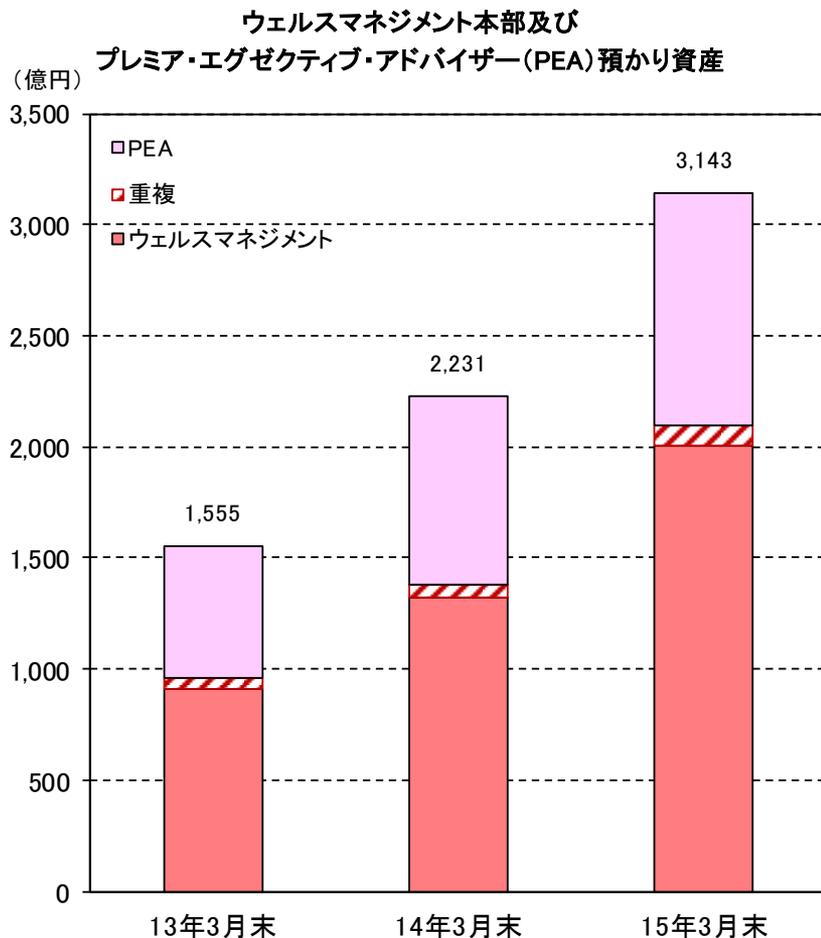
- ・富裕層「日本橋プレミアオフィス」設置
- ・成熟層「大人の投資倶楽部」Webサイト開設
- ・資産形成層「東海東京フィナンシャルギャラリー・サカエチカ」及び「トヨタFS営業部コンサルティングブース岡崎」開設、インターネットによる信用取引サービス開始

- ・東海東京ファンドラップ口座の取扱開始
- ・富裕層営業の強化

- ・支店新設(ワイエム証券:東京支店、西日本シティTT証券:八女サテライトブース)
- ・プラットフォーム取扱拡大(33社→41社)

経営計画“Ambitious 5”の進捗状況

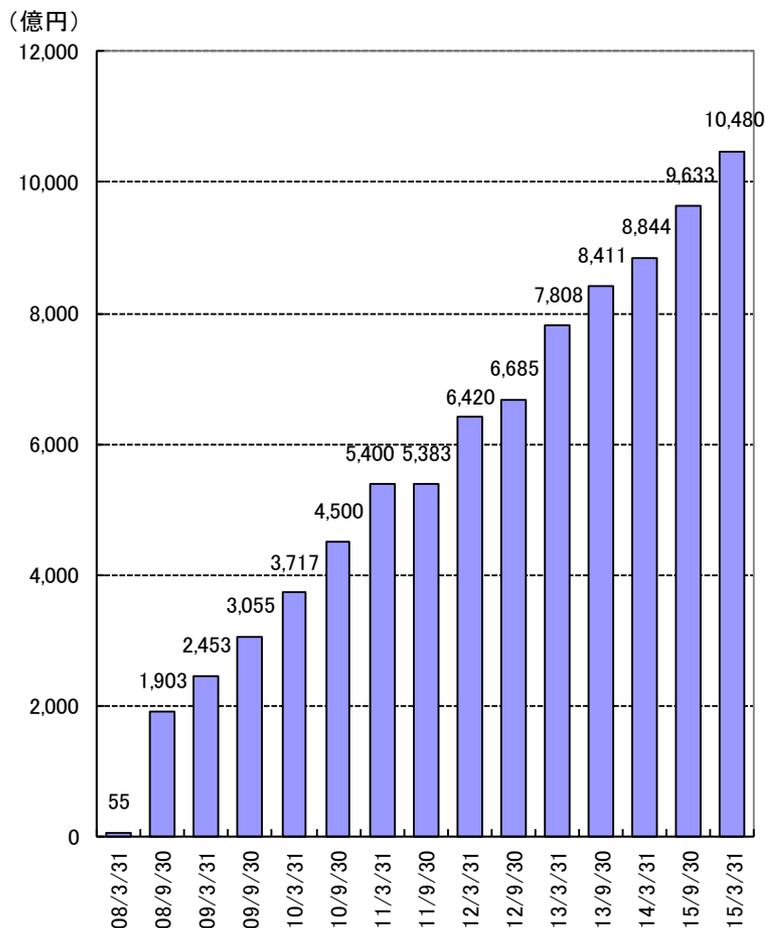
富裕層ビジネスの強化



経営計画“Ambitious 5”の進捗状況

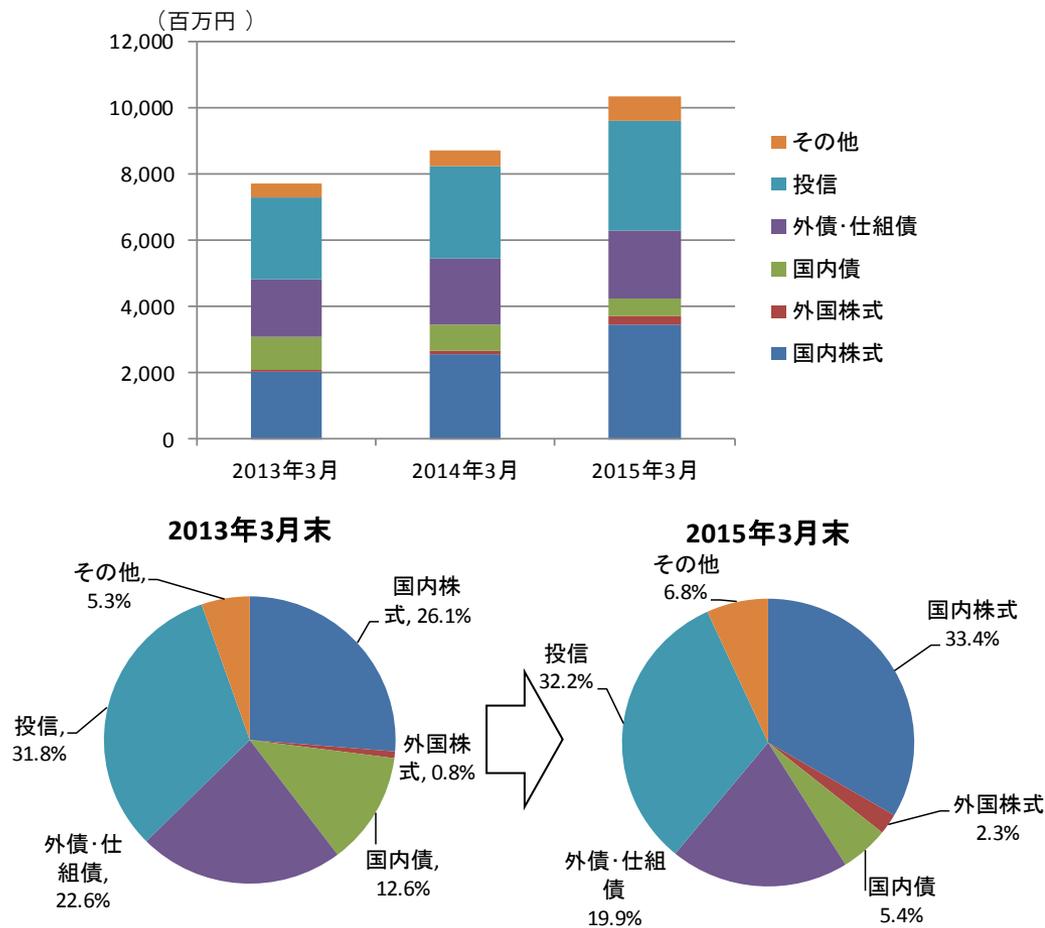
提携合併証券の貢献(1)

■ 預かり資産残高推移 (JV4社合算)



※東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

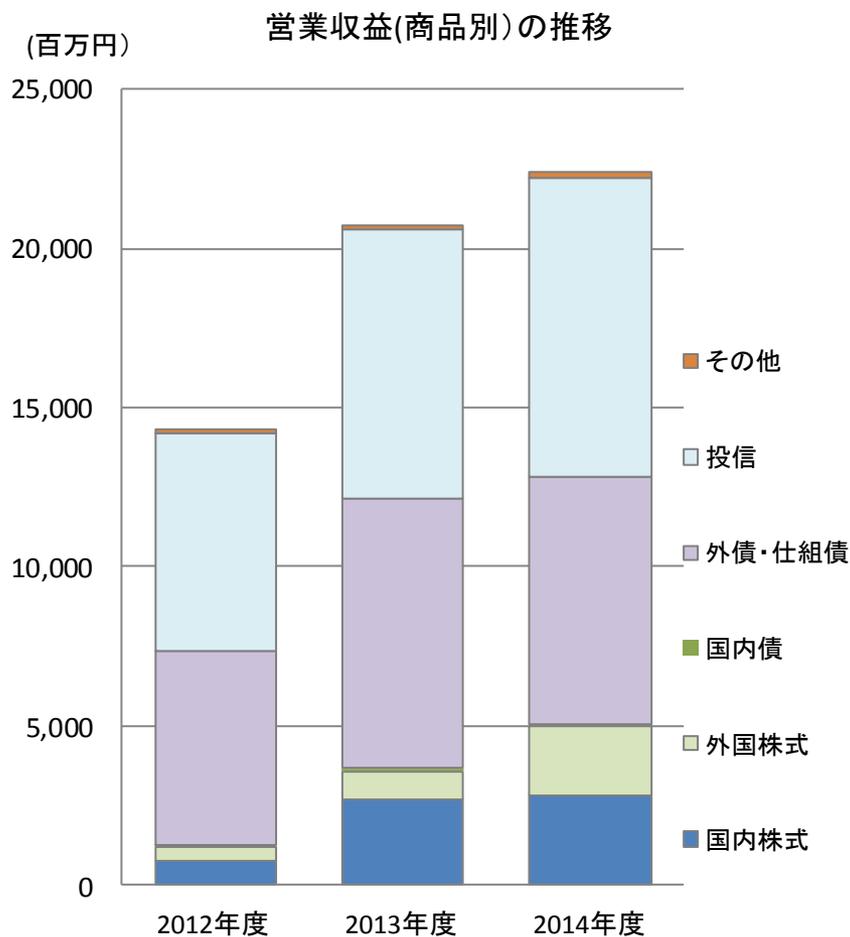
■ 預かり資産残高・構成推移 (商品別)



経営計画“Ambitious 5”の進捗状況

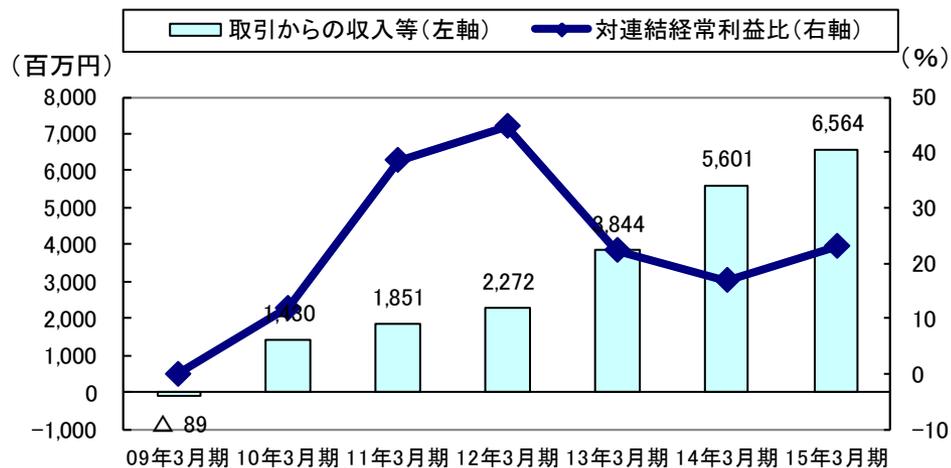
提携合併証券の貢献(2)

業績推移 (JV4社合算)

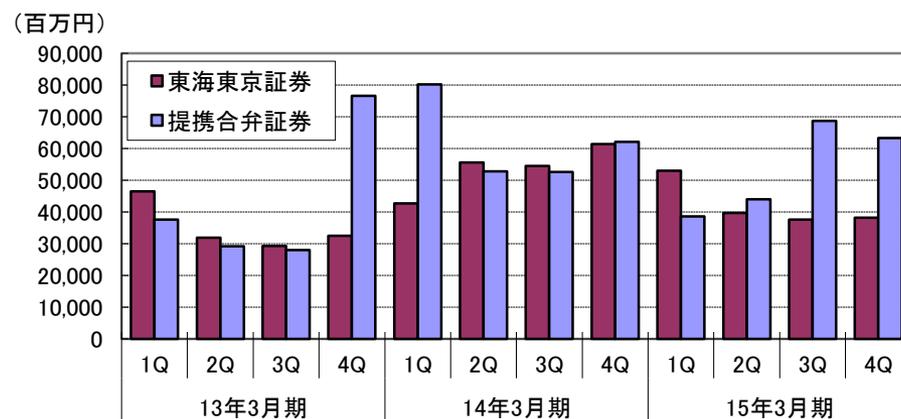


※2012年度は3社、2013年度以降4社

連結収益への貢献



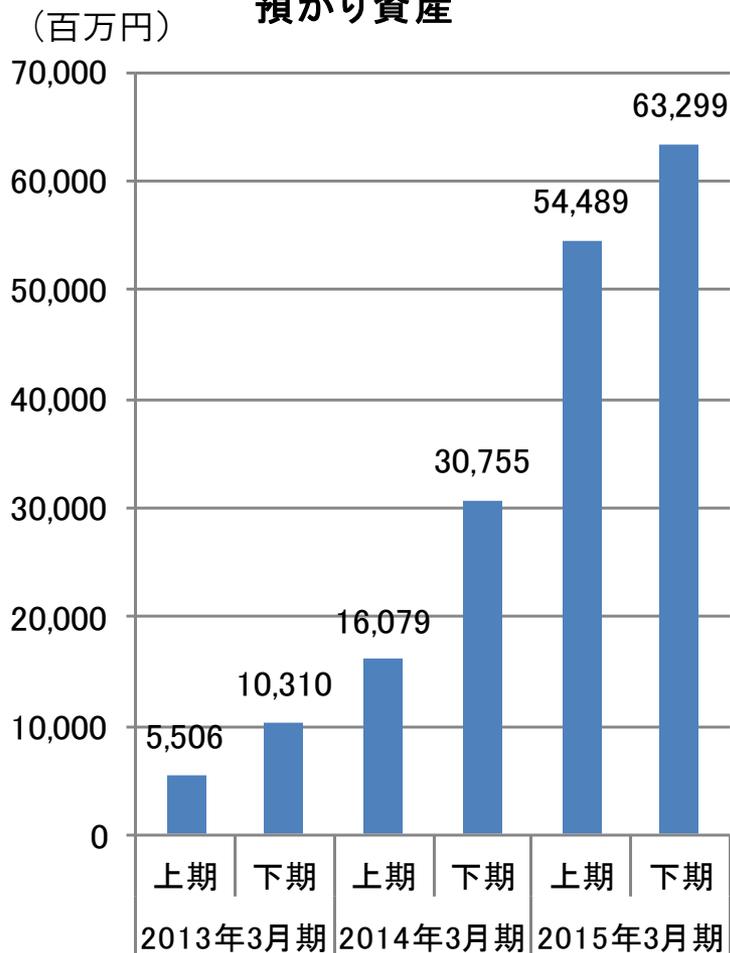
外債・仕組債販売額



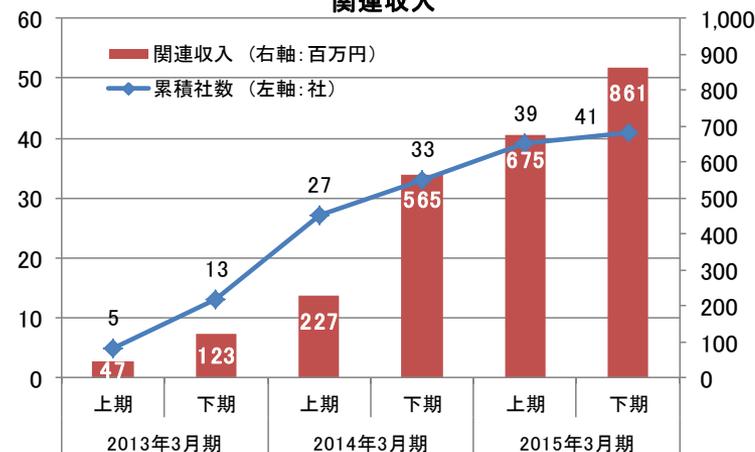
経営計画“Ambitious 5”の進捗状況

プラットフォームビジネスの拡大

プラットフォームビジネスの
預かり資産



プラットフォームビジネス社数・
関連収入



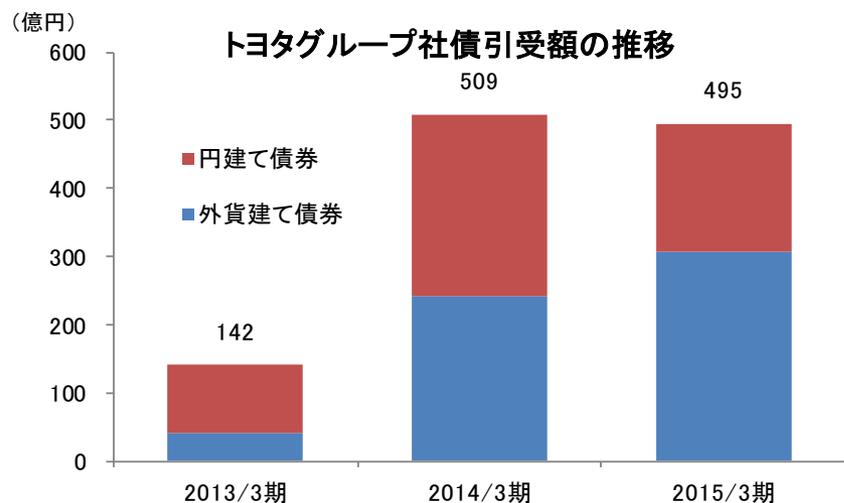
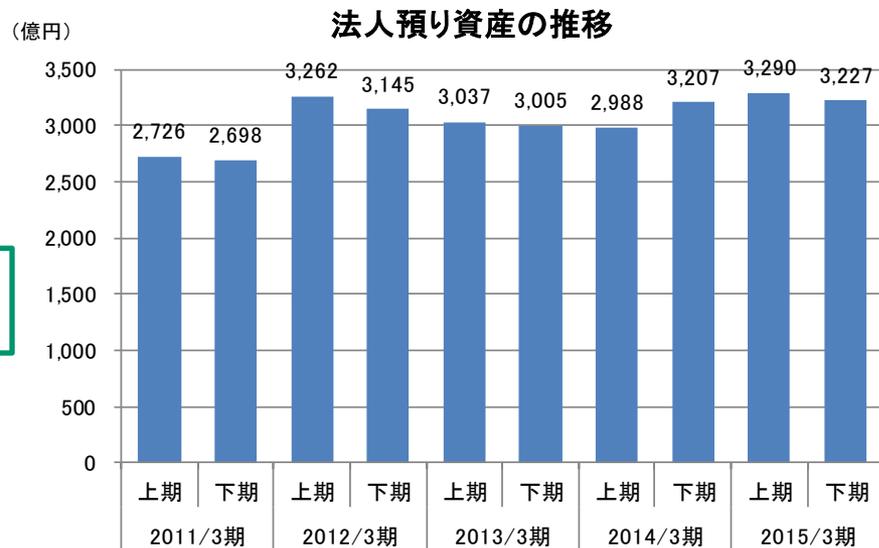
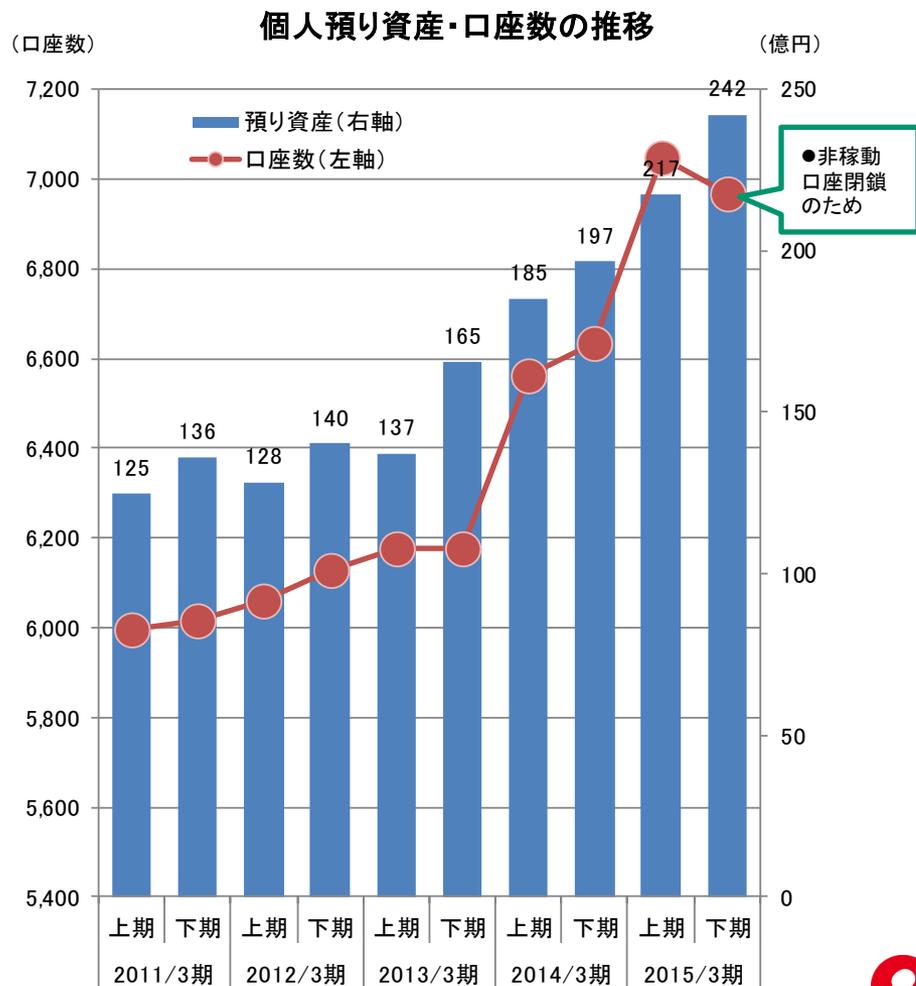
(単位: 百万円)

		外国株式 預り残高
		2015年3月末
アライアンス先(含宇都宮)		27,376
(TTFG合計に占める割合)		19%
プラットフォーム先		46,672
(TTFG合計に占める割合)		32%
アライアンス・プラットフォーム合計		74,048
(TTFG合計に占める割合)		51%
東海東京証券		71,604
(TTFG合計に占める割合)		49%
TTFG合計		145,652

経営計画“Ambitious 5”の進捗状況

トヨタグループとの取引

トヨタ関連ビジネス



経営計画“Ambitious 5”の進捗状況

重要施策の進捗

■ ダイバーシティ

これまでの取り組みと今後の予定		これまでの取り組み	今後の予定
両立支援	意識・知識の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティNEWS配信スタート ・ダイバーシティバイブルの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティNEWSの継続 ・ダイバーシティバイブルの追加作成
	制度・体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ推進室設置 ・育児支援制度の充実 ・キャリアブリッジ制度の導入と推進 ・育児休業復職者研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業復職者研修の継続 ・育児休業中及び復職者とのコミュニケーション充実他
	働き方の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退社の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・退社時間の早期化に向けた対策
	介護両立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「介護離職防止のための職場環境モデル導入事業」参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援環境の構築
成長支援	研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・女性社員向け研修の実施 ・ダイバーシティマネジメント研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン研修の継続 他
	キャリアパスの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職登用数値目標の策定 ・人事制度改定、昇格基準の見直し ・女性活躍推進プロジェクト実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスの提示 他
公表・宣言		<ul style="list-style-type: none"> ・官公庁、民間の女性活躍に関する調査への協力 ・名古屋市「女性の活躍推進企業 認定・表彰」 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社取り組みを積極的に公表 ・更なる表彰受賞への挑戦

経営計画“Ambitious 5”の進捗状況

重要施策の進捗

■ ベースアップ

	2014年	2015年
内容	若手を中心に、基本給の約2%のベースアップ実施	若手に対しては基本給の約3%、さらにマネージャー職の一部に対して約1%のベースアップ実施
対象人数	1,500人弱	2,000人強
費用増 (月当たり)	約910万円(社保込み)	約1,650万円(社保込み)

■ その他の検討課題

シニア社員
の活用

積極的な
人材登用

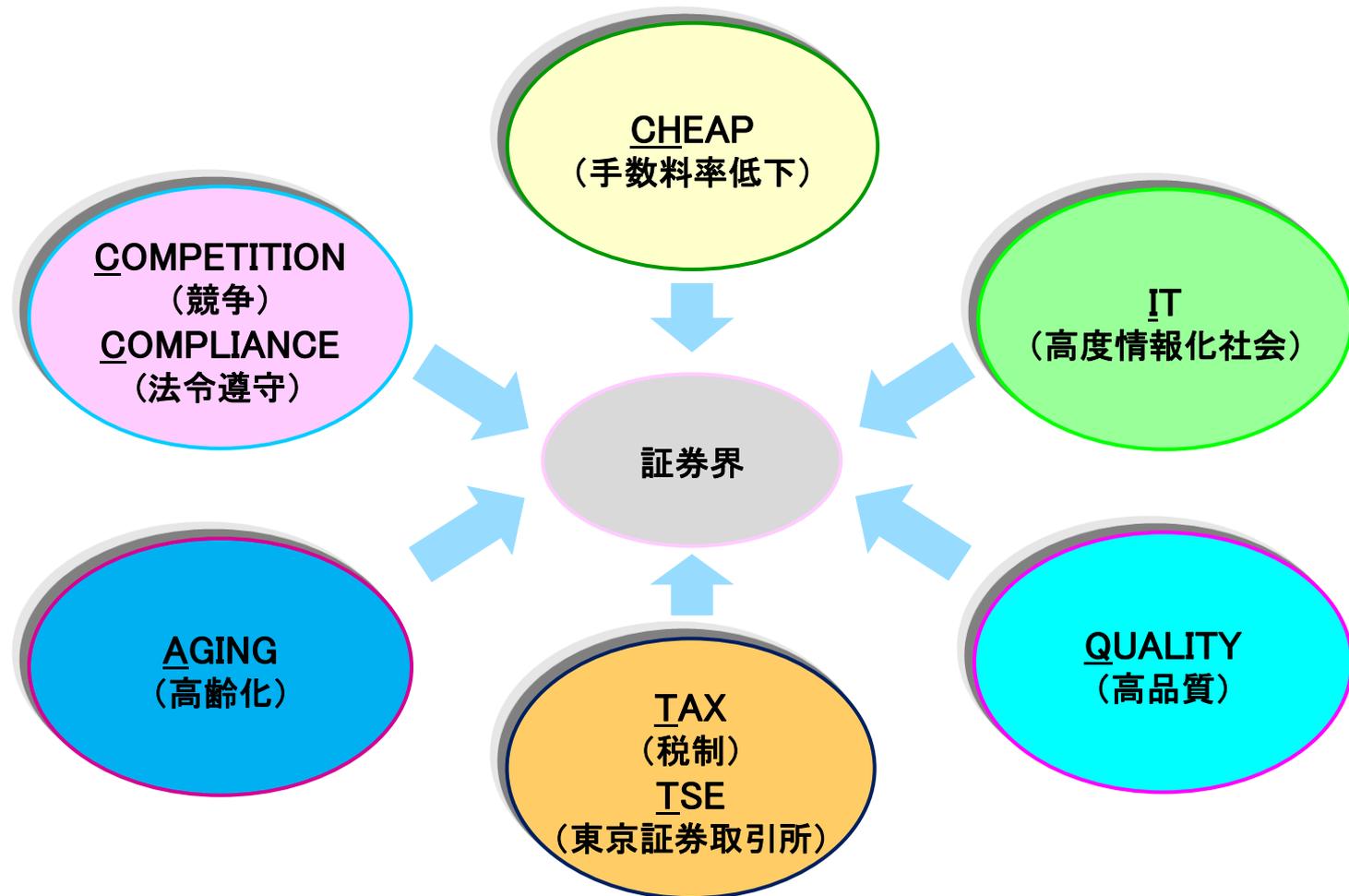
緊張感のある
人事制度

福利厚生制度
の見直し

“Ambitious 5”, 2nd Stage
—さらなる成長と資本政策—

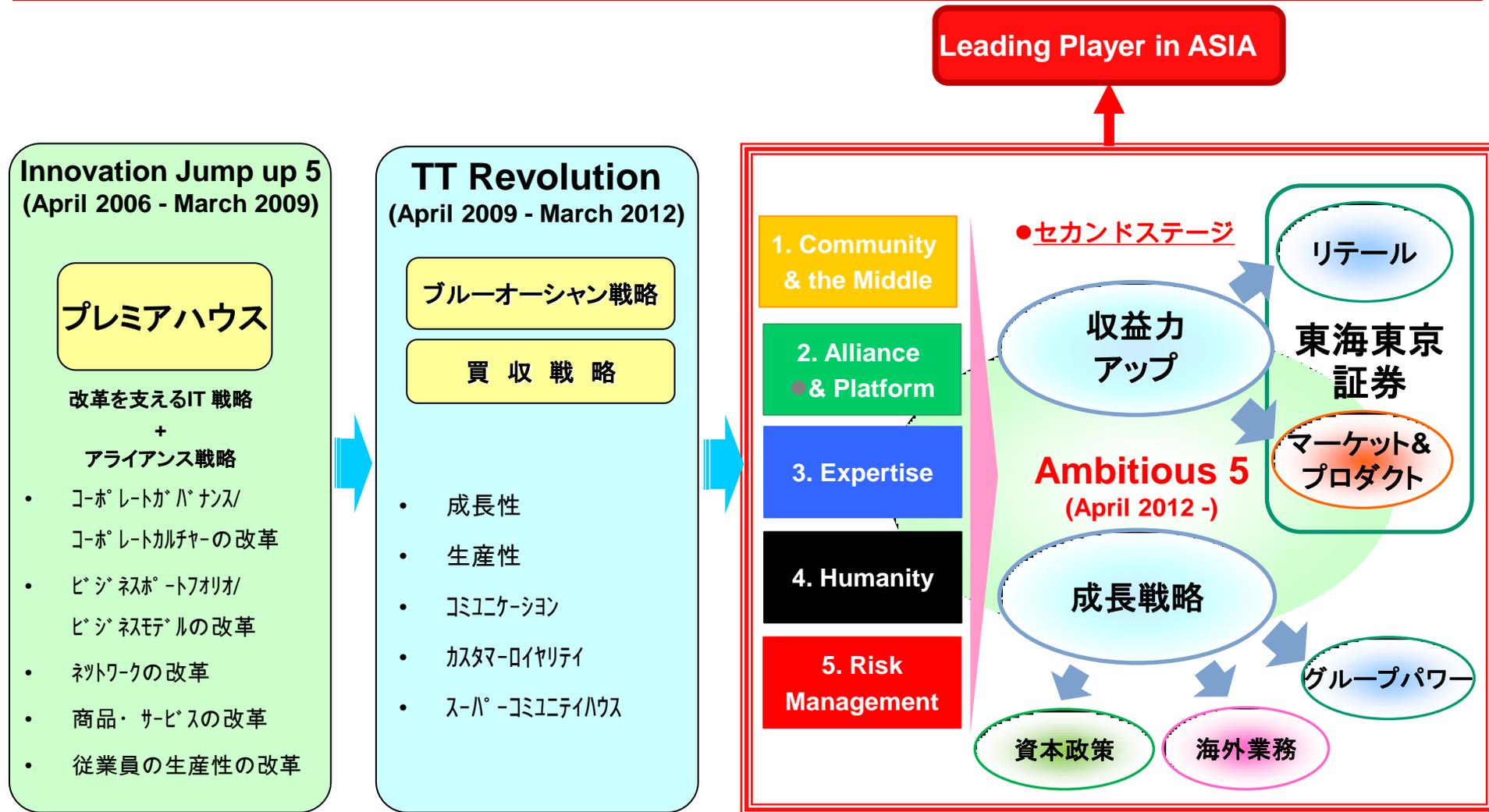
“Ambitious 5”, 2nd Stage –さらなる成長と資本政策–

激変するビジネス環境 – Chiq Tac(チックタック)革命



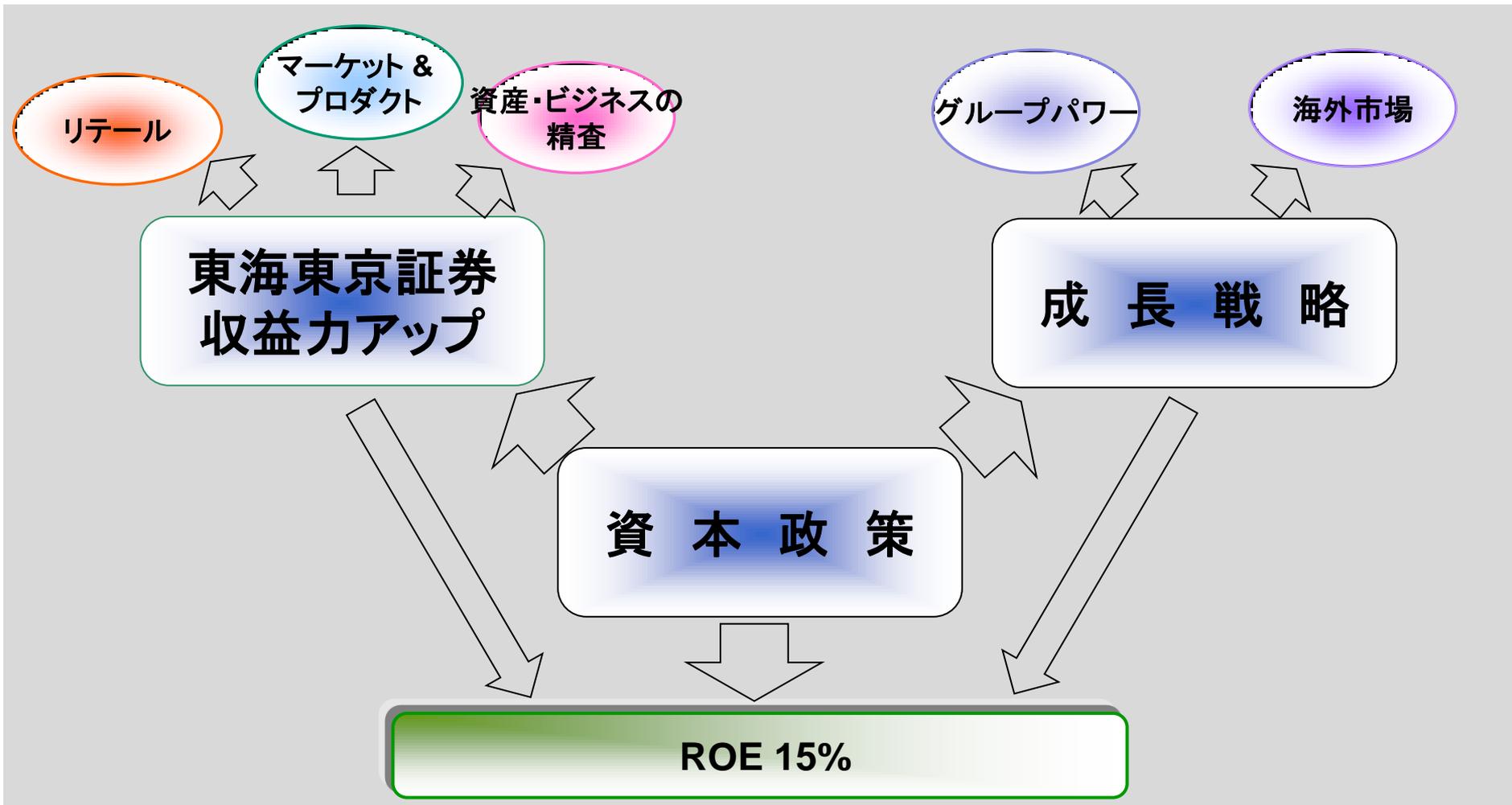
“Ambitious 5”, 2nd Stage –さらなる成長と資本政策–

中期経営計画の方向性



“Ambitious 5”, 2nd Stage –さらなる成長と資本政策–

～ROEターゲット 15%に向けて～

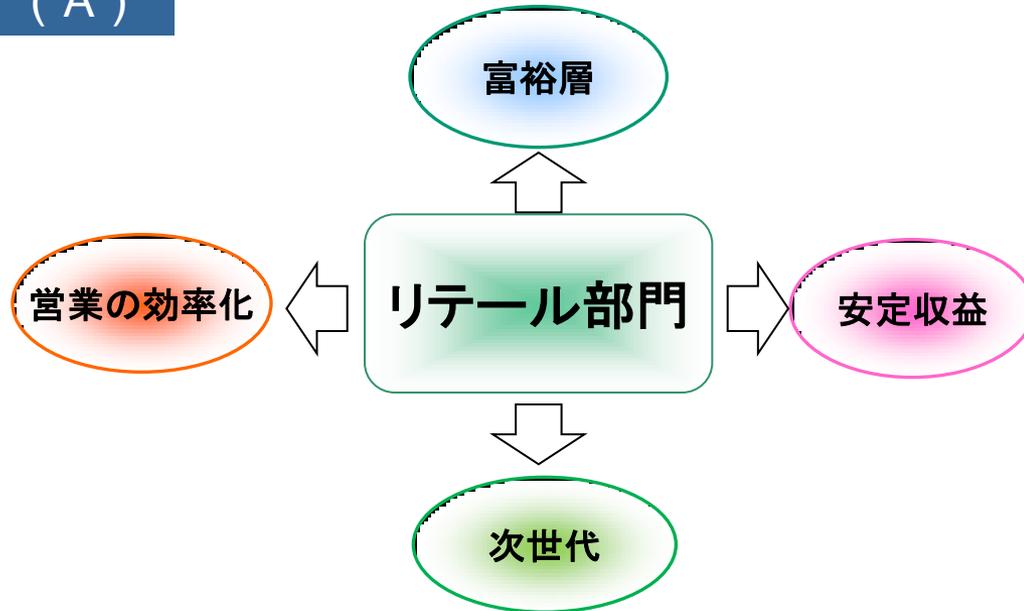


“Ambitious 5”, 2nd Stage –さらなる成長と資本政策–

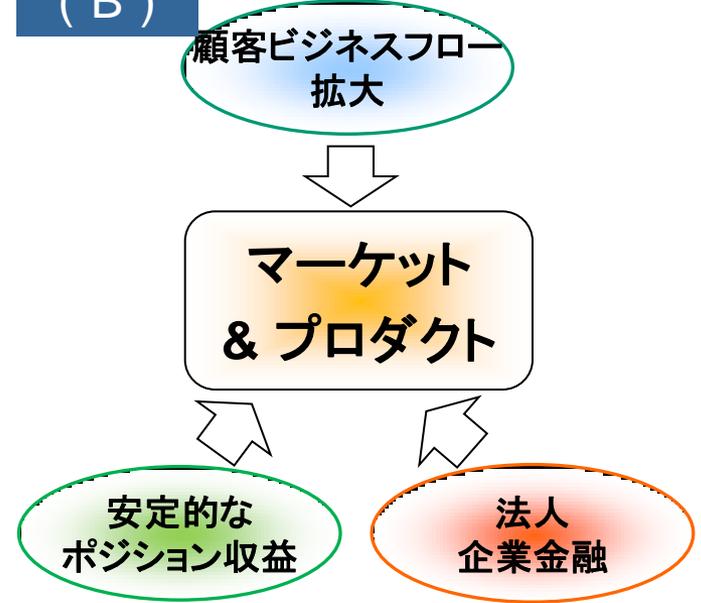
収益力アップ ～ROEターゲット 15%に向けて～

東 海 東 京 証 券

(A)



(B)

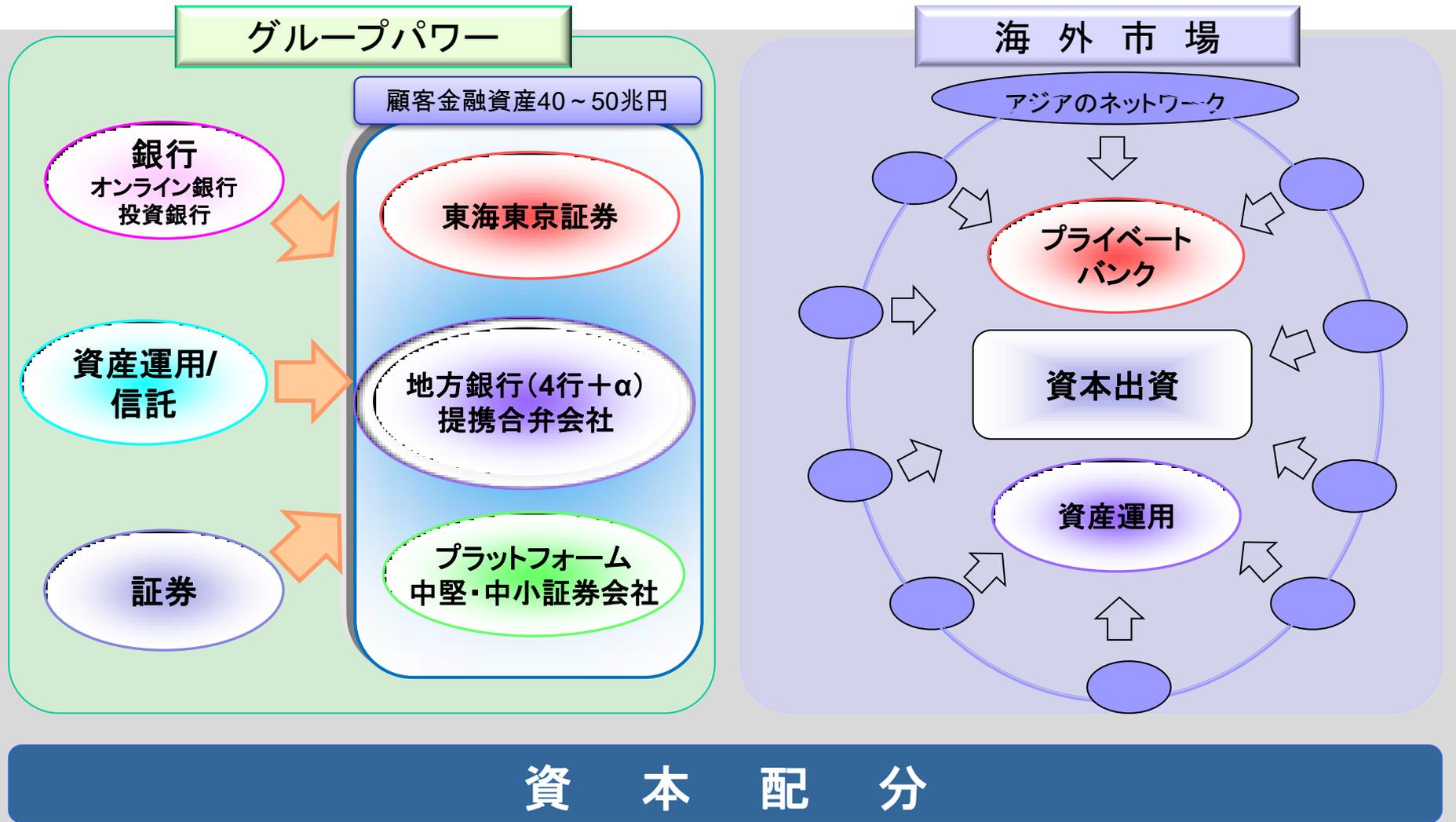


(C)



“Ambitious 5”, 2nd Stage –さらなる成長と資本政策–

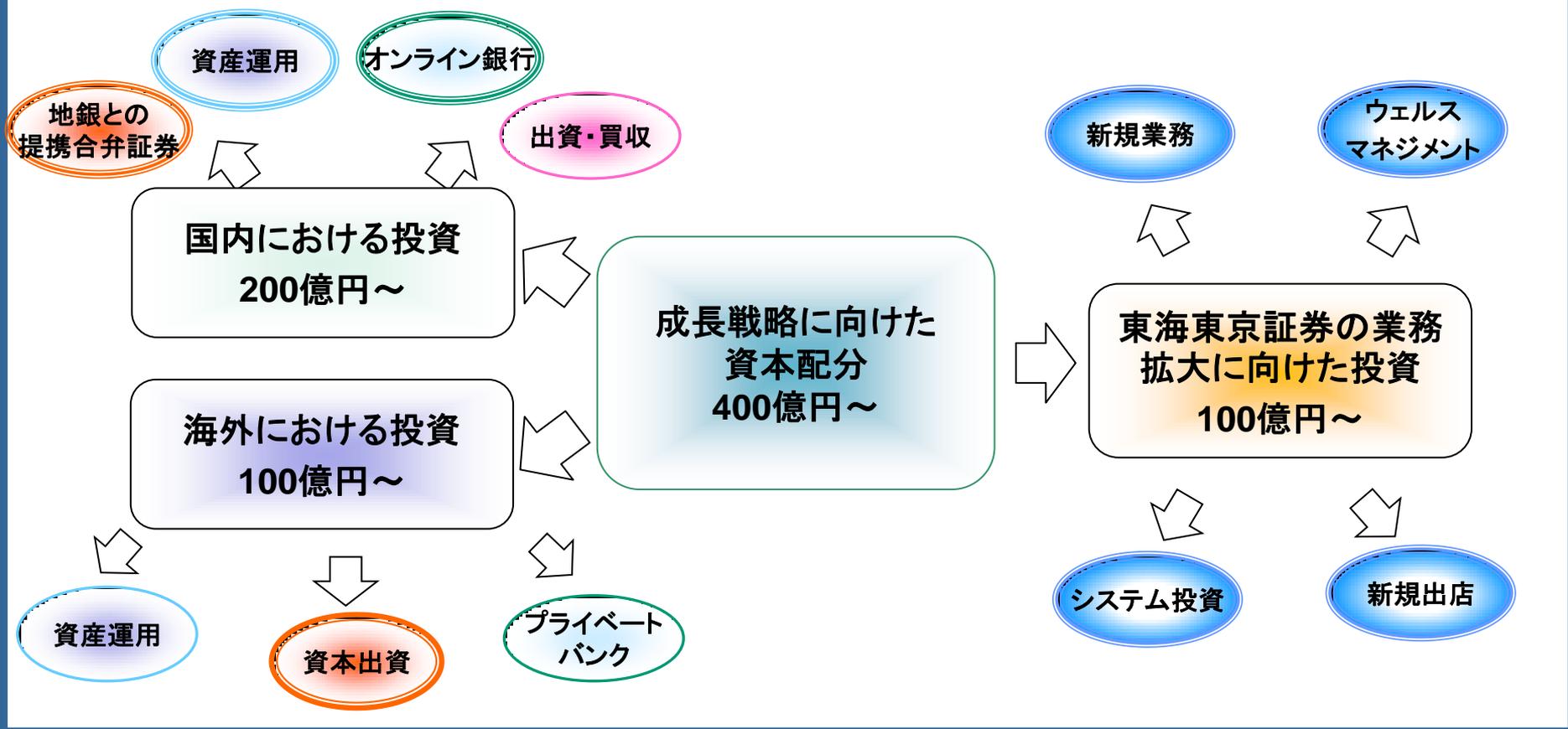
成長戦略



“Ambitious 5”, 2nd Stage –さらなる成長と資本政策–

資本の有効活用

資本政策



問合せ先

- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス 広報・IR部
- TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314
- E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

◇ 本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。